

(12) 特許協力条約に基づいて公開された国際出願

(19) 世界知的所有権機関
国際事務局

(43) 国際公開日
2010 年 12 月 9 日(09.12.2010)



(10) 国際公開番号
WO 2010/140202 A1

- (51) 国際特許分類:
G11B 27/34 (2006.01) *G11B 27/02* (2006.01)
G10K 15/02 (2006.01) *H04N 5/91* (2006.01)
G11B 20/10 (2006.01)
- (21) 国際出願番号: PCT/JP2009/059963
- (22) 国際出願日: 2009 年 6 月 1 日(01.06.2009)
- (25) 国際出願の言語: 日本語
- (26) 国際公開の言語: 日本語
- (71) 出願人 (米国を除く全ての指定国について): パイオニア株式会社 (PIONEER CORPORATION) [JP/JP]; 〒2120031 神奈川県川崎市幸区新小倉 1 番 1 号 Kanagawa (JP).
- (72) 発明者; および
- (75) 発明者/出願人 (米国についてのみ): 小田川 智 (ODAGAWA, Satoshi) [JP/JP]; 〒3502288 埼玉県鶴ヶ島市富士見 6 丁目 1 番 2 号 パイオニア株式会社 総合研究所内 Saitama (JP). 田原 一司 (TAHARA, Kazushi) [JP/JP]; 〒3502288 埼玉県鶴ヶ島市富士見 6 丁目 1 番 2 号 パイオニア株式会社 総合研究所内 Saitama (JP).
- (74) 代理人: 中村 聡延, 外 (NAKAMURA, Toshinobu et al.); 〒1040031 東京都中央区京橋一丁目 1 6 番

10 号 オークビル京橋 3 階 東京セントラル特許事務所内 Tokyo (JP).

- (81) 指定国 (表示のない限り、全ての種類の国内保護が可能): AE, AG, AL, AM, AO, AT, AU, AZ, BA, BB, BG, BH, BR, BW, BY, BZ, CA, CH, CN, CO, CR, CU, CZ, DE, DK, DM, DO, DZ, EC, EE, EG, ES, FI, GB, GD, GE, GH, GM, GT, HN, HR, HU, ID, IL, IN, IS, JP, KE, KG, KM, KN, KP, KR, KZ, LA, LC, LK, LR, LS, LT, LU, LY, MA, MD, ME, MG, MK, MN, MW, MX, MY, MZ, NA, NG, NI, NO, NZ, OM, PG, PH, PL, PT, RO, RS, RU, SC, SD, SE, SG, SK, SL, SM, ST, SV, SY, TJ, TM, TN, TR, TT, TZ, UA, UG, US, UZ, VC, VN, ZA, ZM, ZW.
- (84) 指定国 (表示のない限り、全ての種類の広域保護が可能): ARIPO (BW, GH, GM, KE, LS, MW, MZ, NA, SD, SL, SZ, TZ, UG, ZM, ZW), ユーラシア (AM, AZ, BY, KG, KZ, MD, RU, TJ, TM), ヨーロッパ (AT, BE, BG, CH, CY, CZ, DE, DK, EE, ES, FI, FR, GB, GR, HR, HU, IE, IS, IT, LT, LU, LV, MC, MK, MT, NL, NO, PL, PT, RO, SE, SI, SK, TR), OAPI (BF, BJ, CF, CG, CI, CM, GA, GN, GQ, GW, ML, MR, NE, SN, TD, TG).

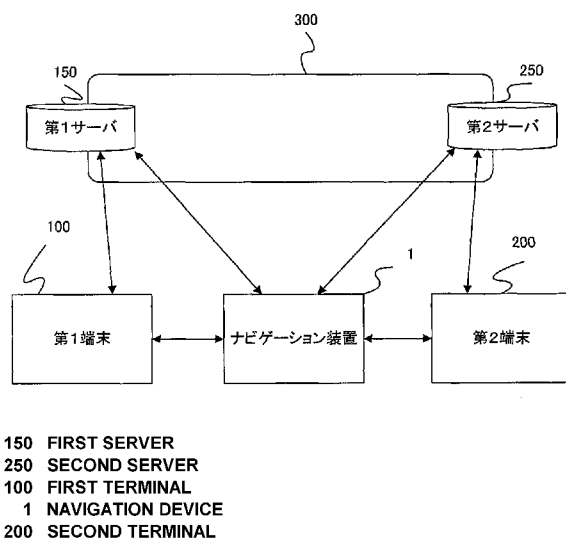
添付公開書類:

— 国際調査報告 (条約第 21 条(3))

(54) Title: COPY SUPPORTING DEVICE, TERMINAL DEVICE, COPY SUPPORTING METHOD, AND COPY SUPPORTING PROGRAM

(54) 発明の名称: 複製支援装置、端末装置、複製支援方法、及び複製支援プログラム

[図1]



コンテンツリストから抽出する。

(57) Abstract: A copy supporting device is provided with a reception means, a content list display means, a first input reception means, a sub menu display means, a second input reception means, and an associated content extraction means. The sub menu display means displays, on the basis of attribute information relating to a designated content designated from a content list by external input, a sub menu made of items designating association with designated content. The second input reception means receives designation of an item of the sub menu by external input. The associated content extraction means extracts, on the basis of the designated item, a content associated with the designated content from the content list.

(57) 要約: 複製支援装置は、受信手段と、コンテンツリスト表示手段と、第 1 入力受付手段と、サブメニュー表示手段と、第 2 入力受付手段と、関連コンテンツ抽出手段と、を備える。サブメニュー表示手段は、コンテンツリストから外部入力により指定された指定コンテンツの属性情報に基づき、当該指定コンテンツとの関連性を指定する項目からなるサブメニューを表示する。第 2 入力受付手段は、外部入力によるサブメニューの項目の指定を受け付ける。関連コンテンツ抽出手段は、指定された項目に基づき、指定コンテンツと関連するコンテンツをコ

明 細 書

発明の名称：

複製支援装置、端末装置、複製支援方法、及び複製支援プログラム

技術分野

[0001] 本発明は、複製するデータの選択を容易にする技術に関する。

背景技術

[0002] 従来から、異なる機器間で各機器が保有する画像などのコンテンツを複製する方法が公知である。例えば、特許文献1には、異なる装置間での画像の移動及び複製を容易な操作により実現する情報処理装置が開示されている。その他、本発明に関連する技術が、特許文献2乃至特許文献4に開示されている。

先行技術文献

特許文献

- [0003] 特許文献1：特開2001-156983号公報
特許文献2：特開2005-032021号公報
特許文献3：特開2001-156983号公報
特許文献4：特開2001-156983号公報

発明の概要

発明が解決しようとする課題

[0004] 一般に、写真、映像などのコンテンツを他の装置からコピーする場合、1のコンテンツのみではなく所定の観点に従って関連した複数のコンテンツを同時にコピーしたい場合がある。このとき、コピー操作を簡略化するには、ユーザが意図する関連性に従って関連するコンテンツをユーザに提示する必要がある。特許文献1乃至特許文献4には、上記の問題は、何ら検討されていない。

[0005] 本発明は、上記のような課題を解決するためになされたものであり、コンテンツの属性情報を利用することで、コンテンツの複製操作を容易にするこ

とが可能な複製支援装置を提供することを目的とする。

課題を解決するための手段

- [0006] 請求項 1 に記載の発明は、コンテンツを提供する利用者が使用する第 1 端末と通信を行う複製支援装置であって、前記第 1 端末から前記利用者が保有するコンテンツのコンテンツリストを受信する受信手段と、前記コンテンツリストを表示するコンテンツリスト表示手段と、前記コンテンツリスト中の任意のコンテンツを指定するための外部入力を受け付ける第 1 入力受付手段と、前記コンテンツリストから外部入力により指定された指定コンテンツの属性情報に基づき、当該指定コンテンツとの関連性を指定する項目からなるサブメニューを表示するサブメニュー表示手段と、外部入力による前記項目の指定を受け付ける第 2 入力受付手段と、指定された前記項目に基づき、前記指定コンテンツと関連するコンテンツを前記コンテンツリストから抽出する関連コンテンツ抽出手段と、を備えることを特徴とする。
- [0007] 請求項 6 に記載の発明は、指定された番組の録画を行う番組記録装置へ録画指示信号を送信する端末装置であって、番組の識別名及び当該番組の属性情報からなる番組情報を電磁的な方法により取得する番組情報取得手段と、前記番組情報に基づき番組のリストを表示する番組リスト表示手段と、前記リスト中の任意の番組を指定するための外部入力を受け付ける第 1 入力受付手段と、前記リストから外部入力により指定された指定番組の属性情報に基づき、当該指定番組との関連性を指定する項目からなるサブメニューを表示するサブメニュー表示手段と、外部入力による前記項目の指定を受け付ける第 2 入力受付手段と、指定された前記項目に基づき、前記指定番組と関連する番組を前記リストから抽出する関連番組抽出手段と、を備えることを特徴とする。
- [0008] 請求項 8 に記載の発明は、コンテンツを提供する利用者が使用する第 1 端末と通信を行う複製支援装置により実行される複製支援方法であって、前記第 1 端末から前記利用者が保有するコンテンツのコンテンツリストを受信する受信工程と、前記コンテンツリストを表示するコンテンツリスト表示工程

と、前記コンテンツリスト中の任意のコンテンツを指定するための外部入力を受け付ける第1入力受付工程と、前記コンテンツリストから外部入力により指定された指定コンテンツの属性情報に基づき、当該指定コンテンツとの関連性を指定する項目からなるサブメニューを表示するサブメニュー表示工程と、外部入力による前記項目の指定を受け付ける第2入力受付工程と、指定された前記項目に基づき、前記指定コンテンツと関連するコンテンツを前記コンテンツリストから抽出する関連コンテンツ抽出工程と、を備えることを特徴とする。

[0009] 請求項9に記載の発明は、コンテンツを提供する利用者が使用する第1端末と通信を行うコンピュータにより実行される複製支援プログラムであって、前記第1端末から前記利用者が保有するコンテンツのコンテンツリストを受信する受信手段と、前記コンテンツリストを表示するコンテンツリスト表示手段と、前記コンテンツリスト中の任意のコンテンツを指定するための外部入力を受け付ける第1入力受付手段と、前記コンテンツリストから外部入力により指定された指定コンテンツの属性情報に基づき、当該指定コンテンツとの関連性を指定する項目からなるサブメニューを表示するサブメニュー表示手段と、外部入力による前記項目の指定を受け付ける第2入力受付手段と、指定された前記項目に基づき、前記指定コンテンツと関連するコンテンツを前記コンテンツリストから抽出する関連コンテンツ抽出手段と、を備えることを特徴とする。

図面の簡単な説明

- [0010] [図1]第1実施例に係るコンテンツ複製システムの概略構成の一例である。
- [図2]ナビゲーション装置の概略構成の一例である。
- [図3]第1端末及び第2端末の概略構成の一例である。
- [図4]第1の例でコンテンツリストからコンテンツを選択した際にナビゲーション装置が出力する表示画面の一例及びその際に表示されるサブメニューの一例である。
- [図5]選択項目S_iが指定された際のナビゲーション装置の表示画面の一例で

ある。

[図6] 第2の例でコンテンツリストからコンテンツを選択した際にナビゲーション装置が出力する表示画面の一例及びその際に表示されるサブメニューの一例である。

[図7] 指定されたコンテンツの複製を実行するシーケンス図の一例である。

[図8] 第1実施例に係る処理手順を表すフローチャートの一例である。

[図9] 変形例1に係るコンテンツ複製システムの概略構成の一例である。

[図10] 第2実施例に係る番組予約システムの概略構成の一例である。

[図11] 第2実施例で第3端末が出力する表示画面の一例である。

発明を実施するための形態

[0011] 本発明の1つの観点では、コンテンツを提供する利用者が使用する第1端末と通信を行う複製支援装置であって、前記第1端末から前記利用者が保有するコンテンツのコンテンツリストを受信する受信手段と、前記コンテンツリストを表示するコンテンツリスト表示手段と、前記コンテンツリスト中の任意のコンテンツを指定するための外部入力を受け付ける第1入力受付手段と、前記コンテンツリストから外部入力により指定された指定コンテンツの属性情報に基づき、当該指定コンテンツとの関連性を指定する項目からなるサブメニューを表示するサブメニュー表示手段と、外部入力による前記項目の指定を受け付ける第2入力受付手段と、指定された前記項目に基づき、前記指定コンテンツと関連するコンテンツを前記コンテンツリストから抽出する関連コンテンツ抽出手段と、を備える。

[0012] 上記の複製支援装置は、例えばナビゲーション装置であり、受信手段と、コンテンツリスト表示手段と、第1入力受付手段と、サブメニュー表示手段と、第2入力受付手段と、関連コンテンツ抽出手段と、を備える。受信手段は、第1端末からコンテンツの識別名等からなるコンテンツリストを受信する。コンテンツリスト表示手段は、コンテンツリストを表示する。第1入力受付手段は、タッチパネル方式等により、コンテンツリスト中の任意のコンテンツを指定するための外部入力を受け付ける。ここで「外部入力」とは、

利用者等の操作に基づく入力を指す。サブメニュー表示手段は、コンテンツリストから外部入力により指定された指定コンテンツの属性情報に基づき、当該指定コンテンツとの関連性を指定する項目からなるサブメニューを表示する。ここで、「属性情報」は、タイトル名、録音時間等のコンテンツが本来備える属性の他、利用者の行為に起因して発生する再生日時や再生場所などの属性を含む。属性情報は、コンテンツに一体として付属している情報、または、第1端末又は複製支援装置により利用者の入力に基づき生成される情報、若しくは再生時等に第1端末又は複製支援装置がコンテンツを解析等することにより生成する情報であってもよい。第2入力受付手段は、外部入力によるサブメニューの項目の指定を受け付ける。関連コンテンツ抽出手段は、指定された項目に基づき、指定コンテンツと関連するコンテンツをコンテンツリストから抽出する。即ち、関連コンテンツ抽出手段は、指定コンテンツと、指定された項目の観点で関連性を有するコンテンツをコンテンツリストから抽出する。ここで、「抽出する」とは、必ずしも該当するコンテンツのデータ自体を抽出することではなく、コンテンツリストから該当するコンテンツの識別名等を特定、選定するまでの工程を指す。そして、その後、複製支援装置は、抽出したコンテンツの複製を行ってもよく、又は、さらに利用者に抽出したコンテンツから複製するコンテンツを指定させてもよい。このように、複製支援装置は、サブメニューを表示して利用者に項目を指定させることで、利用者が指定した関連性に基づき関連するコンテンツを適切に抽出することができる。従って、利用者の複製操作を容易にし、ユーザビリティを向上させることができる。

[0013] 上記の複製支援装置の一態様では、複製支援装置は、前記関連コンテンツ抽出手段が抽出したコンテンツのリストである関連コンテンツリストを表示する関連コンテンツリスト表示手段と、外部入力に基づき前記関連コンテンツリストから指定されたコンテンツの複製制御を実行する複製制御実行手段と、をさらに備える。このようにすることで、複製支援装置は、利用者の複製操作を容易にさせ、利用者の意図に適ったコンテンツの複製を迅速に実行

することができる。

[0014] 上記の複製支援装置の他の一態様では、コンテンツの提供を受ける利用者が使用する第2端末と通信を行い、前記受信手段は、前記第2端末のコンテンツリストを受信し、前記コンテンツリスト表示手段は、前記第2端末のコンテンツリストを表示し、前記複製制御実行手段は、外部入力に基づき前記関連コンテンツリストから前記第2端末のコンテンツリストへ移動したコンテンツの複製制御を実行する。このようにすることで、複製支援装置は、第1端末の利用者と第2端末の利用者との間での複製したコンテンツの譲渡を容易に実現することができる。

[0015] 上記の複製支援装置の他の一態様では、前記属性情報は、コンテンツが本来有している第1属性、又は／及び、利用者の行為に起因して発生する第2属性を含む。例えば、第1属性は、楽曲等の場合には、当該コンテンツが収録されたアルバムのタイトル、実演するアーティスト、ジャンル、曲調などが該当し、個人撮影した写真等の場合には、被写体人物、撮影者等が該当する。そして、第2属性は、例えば、利用者の行為に起因して特定される再生日時、再生場所、再生時の走行ルート等が該当する。このような属性情報は、例えば、コンテンツに一体として付属している情報であってもよく、上述したように、複製支援装置、第1又は／及び第2端末等が検出、解析した情報、又は利用者により手動で入力された情報であってもよい。このように、第1属性又は／及び第2属性を利用することで、複製支援装置は、より利用者の意図に即した関連コンテンツを抽出することができる。

[0016] 上記の複製支援装置の他の一態様では、サブメニュー表示手段は、前記指定コンテンツの属性情報に基づき、前記第1端末の利用者と前記第2端末の利用者との共通性を示す項目からなるサブメニューを表示する。ここで、「共通性を示す項目」とは、例えば、「共通のお好みアーティスト」、「共通のお好みジャンル」「一緒に写っているコンテンツ」などの所定の共通性を特定する項目を指す。このようにすることで、複製支援装置は、より柔軟に利用者が意図したコンテンツを抽出することができ、ユーザビリティを向上

させることができる。

[0017] なお上記の例において、第1端末や第2端末にコンテンツが記録されている必要は必ずしもなく、当該第1端末や第2端末がアクセス可能なコンテンツであればよい。具体的には、第1端末や第2端末がアクセス可能なネットワークに接続されたサーバなどのストレージデバイスに当該コンテンツが保持されていてもよい。

[0018] 本発明の他の観点では、指定された番組の録画を行う番組記録装置へ録画指示信号を送信する端末装置であって、番組の識別名及び当該番組の属性情報からなる番組情報を電磁的な方法により取得する番組情報取得手段と、前記番組情報に基づき番組のリストを表示する番組リスト表示手段と、前記リスト中の任意の番組を指定するための外部入力を受け付ける第1入力受付手段と、前記リストから外部入力により指定された指定番組の属性情報に基づき、当該指定番組との関連性を指定する項目からなるサブメニューを表示するサブメニュー表示手段と、外部入力による前記項目の指定を受け付ける第2入力受付手段と、指定された前記項目に基づき、前記指定番組と関連する番組を前記リストから抽出する関連番組抽出手段と、を備える。

[0019] 上記の端末装置は、指定された番組の録画を行う番組記録装置へ録画指示信号を送信する端末装置であって、番組情報取得手段と、番組リスト表示手段と、第1入力受付手段と、サブメニュー表示手段と、第2入力受付手段と、関連番組抽出手段と、を備える。番組情報取得手段は、番組の識別名及び当該番組の属性情報からなる番組情報を電磁的な方法、例えば放送やインターネットにより取得する。番組リスト表示手段は、番組情報に基づき番組のリスト、即ち番組表を表示する。第1入力受付手段は、リスト中の任意の番組を指定するための外部入力を受け付ける。サブメニュー表示手段は、リストから外部入力により指定された指定番組の属性情報に基づき、当該指定番組との関連性を指定する項目からなるサブメニューを表示する。ここで、属性情報は、例えば、番組のジャンル、番組の実演者等の番組の付属情報が該当する。なお、属性情報は、番組情報取得手段により取得した番組情報の他

、端末装置がインターネット等で自動検索した結果等を含んでもよい。第2入力受付手段は、外部入力によるサブメニュー中の項目の指定を受け付ける。関連番組抽出手段は、指定された項目に基づき、指定番組と関連する番組をリストから抽出する。その後、端末装置は、抽出した番組の全部または利用者がさらに抽出した場合はその抽出後の番組の録画指示信号を番組記録装置へ送信する。このようにすることで、端末装置は、利用者が意図する関連番組を抽出し、番組予約の操作を容易にすることができる。

[0020] 上記の端末装置の一態様では、前記関連番組抽出手段が抽出した番組のリストである関連番組リストを表示する関連番組リスト表示手段と、外部入力に基づき前記関連番組リストから指定された番組の録画指示信号を前記番組記録装置へ送信する番組予約通知手段と、をさらに備える。このように、端末装置は、利用者が意図する番組リストを提示し選択させることで、番組予約の操作を容易にかつ的確に実行させることができる。

[0021] 本発明のさらに別の観点では、コンテンツを提供する利用者が使用する第1端末と通信を行う複製支援装置により実行される複製支援方法であって、前記第1端末から前記利用者が保有するコンテンツのコンテンツリストを受信する受信工程と、前記コンテンツリストを表示するコンテンツリスト表示工程と、前記コンテンツリスト中の任意のコンテンツを指定するための外部入力を受け付ける第1入力受付工程と、前記コンテンツリストから外部入力により指定された指定コンテンツの属性情報に基づき、当該指定コンテンツとの関連性を指定する項目からなるサブメニューを表示するサブメニュー表示工程と、外部入力による前記項目の指定を受け付ける第2入力受付工程と、指定された前記項目に基づき、前記指定コンテンツと関連するコンテンツを前記コンテンツリストから抽出する関連コンテンツ抽出工程と、を備える。複製支援装置は、この方法を使用することにより、利用者が意図する関連コンテンツを抽出し、複製操作を容易にすることができる。

[0022] 本発明のさらに別の観点では、コンテンツを提供する利用者が使用する第1端末と通信を行うコンピュータにより実行される複製支援プログラムであ

って、前記第1端末から前記利用者が保有するコンテンツのコンテンツリストを受信する受信手段と、前記コンテンツリストを表示するコンテンツリスト表示手段と、前記コンテンツリスト中の任意のコンテンツを指定するための外部入力を受け付ける第1入力受付手段と、前記コンテンツリストから外部入力により指定された指定コンテンツの属性情報に基づき、当該指定コンテンツとの関連性を指定する項目からなるサブメニューを表示するサブメニュー表示手段と、外部入力による前記項目の指定を受け付ける第2入力受付手段と、指定された前記項目に基づき、前記指定コンテンツと関連するコンテンツを前記コンテンツリストから抽出する関連コンテンツ抽出手段と、を備える。複製支援装置は、このプログラムを搭載することにより、利用者が意図する関連コンテンツを抽出し、複製操作を容易にすることができる。なお、好適な例では、上記のプログラムは、記憶媒体に記憶される。

実施例

[0023] 以下、図面を参照して本発明の好適な各実施例について説明する。

[0024] [第1実施例]

本発明の第1実施例に係るコンテンツ複製システムについて説明する。以下では、まず、第1実施例に係るシステムの概略構成について述べた後、当該システムの構成要素となるナビゲーション装置並びに第1及び第2端末の概略構成、コンテンツの選択支援方法、複製したコンテンツの伝送例及び処理フローについて順に説明する。その後、第1実施例に係る各変形例についてさらに説明する。

[0025] また、ここで「コンテンツ」は、映画、音楽、演劇、文芸、写真、漫画、アニメーション、コンピュータゲームを含む。また、コンテンツは、その他の文字、図形、色彩、音声、動作若しくは映像若しくはこれらを組み合わせたもの又はこれらに係る情報を、電子計算機を介して提供するためのプログラムも含む。

[0026] (システムの概略構成)

図1は、第1実施例に係るコンテンツ複製システムの概略構成の一例であ

る。コンテンツ複製システムは、ナビゲーション装置１と、第１端末１００と、第１サーバ１５０と、第２端末２００と、第２サーバ２５０と、通信網３００と、を備える。

[0027] ナビゲーション装置１は、車両などの移動体に搭載され、全地球測位システム（GPS：Global Positioning System）や車速パルス、ジャイロなどの自律航法装置を利用し、移動体の運行時に、運転者に対してディスプレイ画面上に地図表示、目的地への走行経路案内などを行なう装置である。

[0028] さらに、ナビゲーション装置１は、第１端末１００及び第２端末２００と近距離で無線通信を行う。具体的には、ナビゲーション装置１は、第１端末１００が備えるコンテンツリスト（以後、「コンテンツリストCL１」と呼ぶ。）を受信すると共に、第２端末２００が備えるコンテンツリスト（以後、「コンテンツリストCL２」と呼ぶ。）を受信する。さらに、ナビゲーション装置１は、第１端末１００及び第２端末２００から、コンテンツリストCL１、CL２を構成する各コンテンツの属性情報（以後、「属性情報Is」と呼ぶ。）を受信する。属性情報Isは、後述するように、コンテンツの種類や実演者等のコンテンツが本来的に備える属性（以後、「第１属性Is１」と呼ぶ。）と、再生日や再生場所などの利用者の行為に起因して発生した属性（以後、「第２属性Is２」と呼ぶ。）とに分類される。なお、ナビゲーション装置１は、後述するように、属性情報Isを自ら生成することも可能である。

[0029] また、ナビゲーション装置１は、無線により通信網３００へアクセスし、通信網３００に接続された第１サーバ１５０及び第２サーバ２５０と通信を行う。具体的には、ナビゲーション装置１は、第１サーバ１５０又は第２サーバ２５０が備えるコンテンツをダウンロード再生又はストリーミング再生する。また、ナビゲーション装置１は、第１端末１００の利用者（以後、「利用者A」と呼ぶ。）又は第２端末２００の利用者（以後、「利用者B」と呼ぶ。）の操作に基づき、第１サーバ１５０が保有するコンテンツの複製を

第2サーバ250へ供給するように制御したり、第2サーバ250が保有するコンテンツの複製を、第1サーバ150へ供給するように制御する。通信網300は、例えば、インターネットなどの公衆網や閉域網などの通信網である。

[0030] 第1端末100は、ナビゲーション装置1と通信可能に構成され、第1サーバ150が記憶するコンテンツのコンテンツリストCL1及びこれに対応する属性情報Isを保持する。コンテンツリストCL1は、例えば、第1サーバ150に記憶されるコンテンツのうち、第1端末100の利用者Aが他人にその複製を譲渡する権利を保有するコンテンツの一覧（リスト）である。

[0031] 第1サーバ150は、通信網300を介して他の装置と通信可能に構成され、コンテンツリストCL1に対応するコンテンツを記憶する。第1サーバ150は、ナビゲーション装置1の制御に基づき、第2サーバ250へコンテンツを供給する。

[0032] 第2端末200は、ナビゲーション装置1と通信可能に構成され、第2サーバ250が記憶するコンテンツのコンテンツリストCL2及びこれに対応する属性情報Isを保持する。コンテンツリストCL2は、例えば、第2サーバ250に記憶されるコンテンツのうち、第2端末200の利用者Bが他人にその複製を譲渡する権利を保有するコンテンツの一覧である。

[0033] 第2サーバ250は、通信網300を介して他の装置と通信可能に構成され、コンテンツリストCL2に対応するコンテンツを記憶する。第2サーバ250は、ナビゲーション装置1の制御に基づき、第1サーバ150へコンテンツを供給する。

[0034] （ナビゲーション装置の概略構成）

次に、図2を参照し、ナビゲーション装置1の構成について説明する。

[0035] 図2は、ナビゲーション装置1の概略構成の一例である。ナビゲーション装置1は、UI（User Interface）部2と、ユーザ操作解析部3と、属性情報管理部4と、近距離無線通信部5と、接続ユーザ管理部6

と、広域無線通信部 7 と、コンテンツ再生部 8 と、ナビ機能部 9 と、主制御部 10 と、表示部 11 とを備える。

[0036] UI 部 2 は、利用者 A 又は利用者 B その他ナビゲーション装置 1 が搭載された移動体の乗員等（単に「ユーザ」とも呼ぶ。）の入力を受け付けるインタフェースである。UI 部 2 は、例えば、手入力を受け付けるタッチパネル、リモコン、ボタン、音声入力を受け付けるマイク等が該当する。特に本発明では、ユーザは、必要に応じてコンテンツに意図的に属性情報 Is を付したい場合に、UI 部 2 を介して所定の入力を行う。

[0037] ユーザ操作解析部 3 は、UI 部 2 を介して入力された情報を解析する。そして、ユーザ操作解析部 3 は、その解析結果を属性情報管理部 4 へ供給する。

[0038] 属性情報管理部 4 は、属性情報 Is を管理する。具体的には、属性情報管理部 4 は、ユーザ操作解析部 3、接続ユーザ管理部 6、コンテンツ再生部 8、及びナビ機能部 9 から供給される情報に基づき、属性情報 Is を生成し、記憶する。このとき、属性情報 Is は、対応するコンテンツの識別情報又は当該コンテンツへアクセスするためのリンク情報等と関連付けられて記憶される。

[0039] 近距離無線通信部 5 は、所定の通信方式に従い、第 1 端末 100 及び第 2 端末 200 と近距離での無線通信を行う。上述の通信方式は、例えば、Bluetooth（登録商標）などが該当する。広域無線通信部 7 は、通信網 300 へ無線によりアクセスし、通信網 300 に接続された装置（端末）と通信を行う。

[0040] 接続ユーザ管理部 6 は、近距離無線通信部 5 により通信中の端末を特定し、そのユーザ情報を管理する。具体的には、接続ユーザ管理部 6 は、近距離無線通信中の端末及びその利用者を特定することで、例えば再生中のコンテンツが誰に視聴されたか把握し、その情報を属性情報管理部 4 へ供給する。同様に、接続ユーザ管理部 6 は、広域無線通信部 5 により通信中の他の装置の利用者情報または伝送中のコンテンツの保有者の情報等を、属性情報管理

部 4 へ供給する。

[0041] コンテンツ再生部 8 は、広域無線通信部 7 より供給されるコンテンツをデコードして再生する。再生されたコンテンツは、表示部 11 又は／及び図示しないスピーカ等により出力される。コンテンツ再生部 8 は、再生中のコンテンツに関する情報や再生時刻に関する情報等を属性情報管理部 4 へ供給する。また、例えば、コンテンツ再生部 8 は、広域無線通信部 7 から供給されたコンテンツが音楽コンテンツの場合には、当該コンテンツの曲調（明るい曲調であるか等）を解析し、その解析結果を属性情報管理部 4 へ供給する。

[0042] ナビ機能部 9 は、GPS や車速パルス、ジャイロなどの自律航法装置を利用し、移動体の運行時に、運転者に対して表示部 11 上に目的地への走行経路案内を行なう。そして、ナビ機能部 9 は、移動体の現在位置や走行経路等に関する情報を属性情報管理部 4 へ供給する。例えば、コンテンツの再生時には、属性情報管理部 4 は、供給された現在位置や走行経路等の情報を当該コンテンツの識別名等と関連付けて属性情報 I s として管理する。

[0043] 主制御部 10 は、図示しない CPU（Central Processing Unit）、ROM（Read Only Memory）及び RAM（Random Access Memory）などを備え、ナビゲーション装置 1 内の各構成要素に対して種々の制御を行う。

[0044] 表示部 11 は、移動体の経路情報やコンテンツの映像等を表示するディスプレイ（モニタ）である。

[0045] （第 1 端末及び第 2 端末の概略構成）

次に、第 1 端末 100 及び第 2 端末 200 の構成について図 3 を用いて説明する。図 3（a）は、第 1 端末 100 の概略構成図を示し、図 3（b）は、第 2 端末 200 の概略構成図を示す。第 1 端末 100 は、UI 部 102 と、ユーザ操作解析部 103 と、属性情報管理部 104 と、近距離無線通信部 105 と、接続ユーザ管理部 106 と、広域無線通信部 107 と、コンテンツ再生部 108 と、GPS 機能部 109 と、主制御部 110 と、表示部 111 と、を備える。第 2 端末 200 は、UI 部 202 と、ユーザ操作解析部 2

０３と、属性情報管理部２０４と、近距離無線通信部２０５と、接続ユーザ管理部２０６と、広域無線通信部２０７と、コンテンツ再生部２０８と、ＧＰＳ機能部２０９と、主制御部２１０と、表示部２１１と、を備える。なお、第１端末１００の構成要素と第２端末２００の構成要素とは一致するため、以下では両構成の各要素について並行して説明する。

[0046] ＵＩ部１０２、２０２は、ユーザの入力を受け付けるインターフェースである。ＵＩ部１０２、２０２は、例えば、手入力を受け付けるタッチパネル、リモコン、ボタン、音声入力を受け付けるマイク等が該当する。特に本発明では、ユーザは、必要に応じてコンテンツリストＣＬ１、ＣＬ２中のコンテンツに属性情報Ｉｓを付したい場合に、ＵＩ部１０２、２０２を介して所定の入力を行う。

[0047] ユーザ操作解析部１０３、２０３は、それぞれＵＩ部１０２、２０２を介して入力された情報を解析する。そして、ユーザ操作解析部１０３、２０３は、その解析結果を属性情報管理部１０４、２０４へ供給する。

[0048] 属性情報管理部１０４、２０４は、属性情報Ｉｓを管理する。具体的には、属性情報管理部１０４、２０４は、ユーザ操作解析部１０３、２０３、接続ユーザ管理部１０６、２０６、コンテンツ再生部１０８、２０８、及びＧＰＳ機能部１０９、２０９から供給される情報に基づき、属性情報Ｉｓを生成し、記憶する。このとき、属性情報Ｉｓは、対応するコンテンツの識別情報又は当該コンテンツへアクセスするためのリンク情報等と関連付けられて記憶される。

[0049] 近距離無線通信部１０５、２０５は、所定の通信方式に従い、それぞれナビゲーション装置１と近距離での無線通信を行う。上述の通信方式は、例えば、Ｂｌｕｅｔｏｏｔｈなどが該当する。広域無線通信部１０７、２０７は、通信網３００へ無線によりアクセスし、通信網３００に接続された装置（端末）と通信を行う。

[0050] 接続ユーザ管理部１０６、２０６は、それぞれ近距離無線通信部１０５、２０５により通信中の端末を特定し、そのユーザ情報を管理する。具体的に

は、接続ユーザ管理部 106、206は、近距離による無線通信中の端末及びその利用者を特定することで、例えば再生中のコンテンツが誰に視聴されたか把握し、その情報をそれぞれ属性情報管理部 104、204へ供給する。同様に、接続ユーザ管理部 106、206は、それぞれ広域無線通信部 105、205により通信中の他の装置の利用者情報または伝送中のコンテンツの所有者の情報等を、属性情報管理部 104、204へ供給する。

[0051] コンテンツ再生部 108、208は、それぞれ広域無線通信部 107、207より供給されるコンテンツをデコードして再生する。再生されたコンテンツは、それぞれ表示部 111、211又は／及び図示しないスピーカ等により出力される。コンテンツ再生部 108、208は、再生中のコンテンツに関する情報や再生時刻に関する情報等を、それぞれ属性情報管理部 104、204へ供給する。また、例えば、コンテンツ再生部 108、208は、それぞれ広域無線通信部 107、207から供給されたコンテンツが音楽コンテンツの場合には、当該コンテンツの曲調（明るい曲調であるか等）を解析し、その解析結果をそれぞれ属性情報管理部 104、204へ供給する。

[0052] GPS機能部 109、209は、GPSを備え、それぞれ第1端末100、第2端末200の現在位置を特定する。そして、GPS機能部 109、209は、特定した現在位置の情報をそれぞれ属性情報管理部 104、204へ供給する。

[0053] 主制御部 110、210は、それぞれ図示しないCPU（Central Processing Unit）、ROM（Read Only Memory）及びRAM（Random Access Memory）などを備え、それぞれ第1端末100、第2端末200内の各構成要素に対して種々の制御を行う。

[0054] 表示部 111、211は、それぞれ第1端末100、第2端末200から出力される映像又は画像を表示する。

[0055] （コンテンツの選択支援方法）

次に、本発明の第1実施例に係るコンテンツの選択支援方法について具体

的に説明する。第1実施例は、ナビゲーション装置1の表示部11に表示されたコンテンツリストCL1から任意のコンテンツをユーザ（主に、利用者B）に選択させることで、利用者Aから利用者Bへ当該コンテンツの複製を譲渡する処理について説明したものである。

[0056] 概略的には、ナビゲーション装置1は、最初にユーザがコンテンツリストCL1から選択したコンテンツ（以後、「コンテンツAs」と呼ぶ。）との関連性を指定する項目からなるリスト（以後、「サブメニューSL」と呼ぶ。）を表示する。そして、ナビゲーション装置1は、サブメニューSLからユーザが選択した項目（以後、「選択項目Si」と呼ぶ。）に関連するコンテンツをコンテンツリストCL1から抽出し、ユーザに提示する。これにより、ナビゲーション装置1は、コンテンツの複製操作を容易にさせる。

[0057] これについて、ナビゲーション装置1が表示部11により出力する表示画面例を用いて具体的に説明する。以下では、図4及び図5を用いて第1の例を説明した後、図6を用いて第2の例について説明する。後述するように、第2の例は、サブメニューSLが利用者Aと利用者Bとの共通性を示す項目からなる点で第1の例と異なる。また、第1の例と第2の例とは、以下に示すように、ユーザの操作方法を変えることで、容易に併用することができる。

[0058] 1. 第1の例

図4（a）は、第1の例でユーザがコンテンツリストCL1からコンテンツAsを選択した際にナビゲーション装置1が出力する表示画面の一例を示す。

[0059] 表示画面20は、ユーザの押下による入力可能なタッチパネル方式である。表示画面20は、第1端末100から送信されたコンテンツリストCL1のコンテンツリスト表示領域Ct1を左端に備え、第2端末200から送信されたコンテンツリストCL2のコンテンツリスト表示領域Ct2を右端に備える。また、表示画面20は、コンテンツリスト表示領域Ct1、Ct2以外の中央部分に、バッファ領域Btを備える。また、コンテンツリスト

表示領域C t 1、C t 2は、縦のスクロール操作等により、それぞれコンテンツリストC L 1、C L 2中の全てのコンテンツを表示できるものとする。なお、ナビゲーション装置1は、コンテンツリストC L 1中のコンテンツと関連する属性情報I sを第1端末100から受信済みであると共に、コンテンツリストC L 2中のコンテンツと関連する属性情報I sを第2端末200から受信済みであるとする。これに加え、ナビゲーション装置1は、属性情報管理部4により生成した属性情報I sについても適宜利用するものとする。

[0060] まず、ユーザは、コンテンツリスト表示領域C t 1に表示されたコンテンツリストC L 1からコピーしたいコンテンツを任意に選択する（STEP 1）。ここでは、一例として、ナビゲーション装置1は、図4（a）に示すように二本指のドラッグ操作によるコンテンツの選択を受理するものとする。

[0061] そして、選択されたコンテンツA sが二本指のドラッグ操作によりバッファ領域B tに移動した場合、ナビゲーション装置1は、コンテンツA sの属性情報I sに基づき、コンテンツA sとの関連性を示す項目（関連メニュー）からなるサブメニューS Lを表示する（STEP 2）。ここで、ナビゲーション装置1は、ユーザからの縦スクロール操作等により、サブメニューS L中の全ての項目を表示可能である。

[0062] ここで、サブメニューS Lの具体例について図4（b）及び図4（c）を用いて詳しく説明する。

[0063] 図4（b）は、コンテンツA sが楽曲、PV（Promotion Video）その他音楽系であった場合に表示されるサブメニューS Lの一例を示す。図4（b）のサブメニューS Lは、「アルバム」、「アーティスト」、「ジャンル」、「録音日」を含む。図4（b）以外にも、サブメニューS Lは、例えば、「フィーリング（コンテンツの曲調）」、「プレイリスト」、「再生した場所」、「再生した時間帯」、「再生した季節」、「再生したときの交通状況」、「購入したときのショップ」、「走行ルート」などを含んでもよい。

- [0064] 図4(c)は、コンテンツAsが写真、PV以外の動画の場合のサブメニューSLの一例を示す。図4(c)のサブメニューSLは、「撮影日」、「撮影場所」、「被写体人物」を含む。図4(c)以外にも、サブメニューSLは、例えば、「撮影者」、「TV録画」、「映画」、「お笑い」、「カメラ機種」、「走行ルート」、「POI(Point Of Interface)」、「含まれている楽曲」などを含んでもよい。
- [0065] ここで、サブメニューSLの生成方法の一例について例示する。例えば、ナビゲーション装置1は、属性情報Isごとに対応するサブメニューSLを構成する項目(関連メニュー)を格納したデータベース等を予めメモリに保持しておく。そして、ナビゲーション装置1は、コンテンツAsの属性情報Isから当該データベースを参照してサブメニューSLを生成する。
- [0066] 次に、サブメニューSLの表示後のユーザが実行する操作及びナビゲーション装置1が実行する処理について説明する。ユーザは、サブメニューSLから任意の項目(選択項目Si)を選択する。例えば、ユーザは、当該項目の表示部分に触れたままサブメニューSLから指をずらして表示画面20から指を離すことにより、選択項目Siを選択する。そして、ナビゲーション装置1は、選択項目Siに関連したコンテンツをコンテンツリストCL1から抽出する。具体的には、ナビゲーション装置1は、選択項目Siに関連するコンテンツを、コンテンツリストCL1中の各コンテンツの属性情報Isを参照することで検索する。そして、ナビゲーション装置1は、抽出したコンテンツのリスト(以後、「関連コンテンツリストBL」と呼ぶ。)をバッファ領域Bt上に表示する。これについて、図5を用いて説明する。
- [0067] 図5は、選択項目Siが決定された後の表示画面20の表示例を示す。図5に示すように、ナビゲーション装置1は、選択項目Siの決定後、バッファ領域Bt中に、コンテンツリストCL1から選択項目Siに基づきコンテンツAsに関連したコンテンツを抽出し、関連コンテンツリストBLとして表示する(STEP3)。このようにすることで、ナビゲーション装置1は、コンテンツAsに加えて、コンテンツAsとユーザが指定した関連性を有

するコンテンツをバッファ領域 B_t にユーザに提示することができる。なお、関連コンテンツリスト B_L は、縦スクロール操作等により、関連コンテンツリスト B_L 中の全てのコンテンツをユーザが選択可能であるものとする。

[0068] ここで、図4(b)に示すサブメニュー S_L の例を用いて、関連コンテンツリスト B_L の生成方法について例示する。例えば、ユーザが図4(b)のサブメニュー S_L に含まれる「アルバム」を選択項目 S_i として指定した場合、ナビゲーション装置1は、コンテンツ A_s が属するアルバムに含まれるコンテンツをコンテンツリスト C_L1 から抽出し、関連コンテンツリスト B_L に表示する。ナビゲーション装置1は、上述の抽出処理を、コンテンツリスト C_L1 の各コンテンツに対応づけられた属性情報 I_s を参照することで実行する。なお、上述したように、コンテンツリスト C_L1 の各コンテンツに対応づけられた属性情報 I_s は、ナビゲーション装置1または第1端末100等によって自動生成される他、UI部2、102等を介してユーザからの手動入力に基づき生成される。同様に、ユーザが「録音日」を選択項目 S_i として指定した場合、ナビゲーション装置1は、例えばコンテンツ A_s と録音日が同一、もしくは同一の週又は月等に録音されたコンテンツをコンテンツリスト C_L1 から抽出し、関連コンテンツリスト B_L に表示する。

[0069] 次に、再び図5に戻り、ユーザが実行する操作及びナビゲーション装置1が実行する処理について説明する。ユーザは、関連コンテンツリスト B_L から、コピーしたいコンテンツを選択してコンテンツリスト表示領域 C_t2 にドラッグすることによりコピーする(STEP4)。図5の例では、ユーザは、一本指によりコンテンツをドラッグしている。その後、ナビゲーション装置1は、関連コンテンツリスト B_L からコンテンツリスト表示領域 C_t2 へ移動されたコンテンツの送信処理を制御する。この処理の一例については、以後の(コンテンツの伝送例)の節で詳しく説明する。

[0070] このように、ナビゲーション装置1は、サブメニュー S_L を表示しユーザに選択項目 S_i を決定させることで、コンテンツ A_s に加えてコンテンツ A_s と選択項目 S_i に基づき関連あるコンテンツをユーザに提示することがで

きる。この場合、関連性についてもユーザが選択することができるため、ユーザは複製操作を柔軟に実行することができる。即ち、同じコンテンツを指定した場合であっても、異なる関連性で共通するコンテンツが一覧表示される。以上のように、ナビゲーション装置 1 は、ユーザがコンテンツ A s に関連した複数のコンテンツをコピーしたい場合に、そのコピー操作を容易にし、ユーザビリティを向上させることができる。

[0071] 2. 第 2 の例

第 2 の例では、ナビゲーション装置 1 は、利用者 A と利用者 B とで相互に関連した項目をサブメニュー S L に表示する。これにより、ナビゲーション装置 1 は、さらにユーザのコピー操作を柔軟化させ、コピー操作を容易にさせる。これについて、図 6 を用いて詳しく説明する。

[0072] 図 6 (a) は、第 2 の例でユーザがコンテンツリスト C L 1 からコンテンツ A s を選択した際のナビゲーション装置 1 の表示画面の一例を示す。

[0073] まず、ユーザは、コンテンツリスト表示領域 C t 1 に表示されたコンテンツリスト C L 1 からコピーしたいコンテンツ A s を任意に選択する (STEP 1)。ここでは、一例として、ナビゲーション装置 1 は、第 1 の例と操作を区別するため、図 6 (a) に示すように三本指のドラッグ操作によるコンテンツの選択を受理するものとする。これにより、ナビゲーション装置 1 は、ユーザ操作に基づき上述の第 1 の例と当該第 2 の例とを明確に区別して処理することができる。

[0074] そして、選択されたコンテンツ A s が三本指のドラッグ操作によりバッファ領域 B t に移動した場合、ナビゲーション装置 1 は、コンテンツ A s に関連し、かつ利用者 A、B の相互に関連した項目 (共通関連メニュー) からなるサブメニュー S L を表示する (STEP 2)。

[0075] ここで、第 2 の例に係るサブメニュー S L の具体例について図 6 (b) 及び図 6 (c) を用いて詳しく説明する。

[0076] 図 6 (b) は、コンテンツ A s が楽曲、P V その他音楽系であった場合に表示されるサブメニュー S L の一例を示す。図 6 (b) のサブメニュー S L

は、「共通のお好みアーティスト」、「共通のお好みジャンル」、「一緒に行動した時に聴いたコンテンツ」を含む。図6（b）に示す例以外にも、サブメニューS_Lは、例えば「一緒に聴いたアーティストの関連情報」、「この曲を聴いたときの他の曲」、「この曲を聴いたときの走行ルート」、「この曲を聴いたときの行動履歴」などの共通関連メニューを含んでもよい。

[0077] 図6（c）は、コンテンツA_sが写真、P_V以外の動画の場合のサブメニューS_Lの一例を示す。図6（c）のサブメニューS_Lは、「一緒に写っているコンテンツ」、「一緒に行動したときのコンテンツ」、「共通の友人、知人が写っているコンテンツ」、「共通趣味のコンテンツ」を含む。図6（c）に示す例以外にも、サブメニューS_Lは、種々の共通関連メニューを含んでもよい。

[0078] ここで、サブメニューS_Lの生成方法の一例について例示する。例えば、ナビゲーション装置1は、第1の例と同様、属性情報I_sごとに対応するサブメニューS_Lの項目（共通関連メニュー）を格納したデータベース等を予めメモリに保持しておく。そして、ナビゲーション装置1は、コンテンツA_sに関連する属性情報I_sから当該データベースを参照してサブメニューS_Lを生成する。

[0079] 次に、サブメニューS_Lの表示後のユーザが実行する操作及びナビゲーション装置1が実行する処理について再び図5を用いて説明する。サブメニューS_Lの表示後、ユーザは、サブメニューS_Lから任意の項目を選択する。例えば、ユーザは、当該項目の表示部分に触れたままサブメニューS_Lから指をずらして表示画面20から指を離すことにより、選択項目S_iを選択する。

[0080] そして、ナビゲーション装置1は、第1の例と同様、図5に示すように、バッファ領域B_t中に、コンテンツリストC_L1から選択項目S_iに基づき関連するコンテンツを抽出し、関連コンテンツリストB_Lとして表示する（STEP3）。このようにすることで、ナビゲーション装置1は、コンテンツA_sに加えて、コンテンツA_sとユーザが指定した関連性を有するコンテ

ンツをバッファ領域B tに表示してユーザに提示することができる。

[0081] ここで、図6（b）及び図6（c）に示すサブメニューS Lの例を用いて、関連コンテンツリストB Lの生成方法について例示する。例えば、ユーザが図6（b）のサブメニューS Lに含まれる「共通のお好みアーティスト」を選択した場合、ナビゲーション装置1は、利用者Aと利用者Bとが共通して気に入っているアーティストが実演するコンテンツをコンテンツリストC L 1から抽出し、関連コンテンツリストB Lに表示する。ナビゲーション装置1は、上述の抽出処理を、コンテンツリストC L 1の各コンテンツに対応づけられた属性情報I sを参照することで実行する。この場合、利用者Aと利用者Bとが共通して気に入っているアーティストであることを示す属性情報I sは、例えば、U I部2、102等を介してユーザからの手動入力に基づき予め生成され、コンテンツと関連付けられてナビゲーション装置1に記憶されている。

[0082] 同様に、図6（c）のサブメニューS Lに含まれる「一緒に写っているコンテンツ」をユーザが選択した場合、ナビゲーション装置1は、利用者Aと利用者Bとが一緒に写っているコンテンツをコンテンツリストC L 1から抽出し、関連コンテンツリストB Lに表示する。その他、他の項目を選択した場合であっても、ナビゲーション装置1は、選択項目S iに基づき関連すると認められるコンテンツを関連コンテンツリストB Lに表示する。

[0083] 以上のようにすることで、ナビゲーション装置1は、コンテンツを提供する利用者Aとコンテンツの提供を受ける利用者Bとの相互関連性を考慮して、複製して譲渡するコンテンツの候補をユーザに提示することができる。また、第1の例と同様、関連性についてもユーザが選択することができるため、ナビゲーション装置1は、同じコンテンツが指定された場合であっても、異なる関連性で共通するコンテンツを一覧表示できる。このように、ナビゲーション装置1は、ユーザの操作を簡易化すると共に柔軟性を向上させることができる。

[0084] （コンテンツの伝送例）

次に、複製すべきコンテンツが指定された後のコンテンツ伝送処理の具体例を示す。図7は、コピー操作終了後に実行されるコンテンツ伝送処理を示すシーケンス図の一例である。以後では、パスワードを「PWD」と記載する。

[0085] まず、ナビゲーション装置1は、コピー操作の終了後、第1端末100へコピー情報を通知する（ステップS1）。ここで、コピー情報とは、ユーザが指定した複製し譲渡するコンテンツの識別情報やその他当該コンテンツに関連する情報を指す。そして、第1端末100は、第1サーバ150にPWD生成の指示を行うと共に、コピー情報を通知する（ステップS2）。

[0086] 次に、第1サーバ150は、PWDを生成及び保存すると共に、これに認証を行う際に使用するURL（Uniform Resource Locator）情報及びコンテンツの存在場所を示すURI（Uniform Resource Identifier）情報をこれに付加する（ステップS3）。ここで、PWDは、有効時間が定められた1タイムパスワードとする。そして、第1サーバ150は、第1端末100にPWDを通知すると共に、URL情報等を通知する（ステップS4）。第1端末100は、受信したPWD及びURL情報等をナビゲーション装置1へ転送する（ステップS5）。次にナビゲーション装置1は、受信したPWD及びURL情報等を第2端末200へ転送すると共に、自身のMAC（Media Access Control）アドレス（以後、「MAC情報」と呼ぶ。）を第2端末200へ送信する（ステップS6）。そして、第2端末200は、受信したPWD及びURL情報等並びにMAC情報を第2サーバ250へ転送する（ステップS7）。

[0087] 次に、第2サーバ250は、受信したURL情報を用いて第1サーバ150へ接続要求を行う（ステップS8）。接続要求を受信した第1サーバ150は、PWDを要求する（ステップS9）。そして、第2サーバ250は、第1サーバ150へPWDを送信する（ステップS10）。PWDを受信した第1サーバ150は、認証処理を行う（ステップS11）。具体的には、

第1サーバ150は、受信したPWDと自身がステップS3で生成したPWDとが一致するか否か確認する。そして、認証処理により正しく認証された場合、第1サーバ150と第2サーバ250とで接続が確立される（ステップS12）。

[0088] 接続確立後、第2サーバ250は、第1サーバ150へURIを利用してコンテンツの取得要求を行うと共に、MAC情報を送信する（ステップS13）。そして、これらを受信した第1サーバ150は、存在確認のため、MAC情報をナビゲーション装置1へ送信する（ステップS14）。ナビゲーション装置1は、受信したMAC情報に基づき認証を行う（ステップS15）。具体的には、ナビゲーション装置1は、受信したMAC情報と自身のMACアドレスとが一致するか否か比較する。そして、ナビゲーション装置1は、認証結果を第1サーバ150へ送信する（ステップS16）。そして、第1サーバ150は、認証結果が肯定的であった場合、第2サーバ250へコンテンツを送信する（ステップS17）。そして、第1サーバ150は、コンテンツ送信が完了した後、ステップS3で生成したPWDを廃棄する（ステップS18）。

[0089] 以上のようにすることで、セキュリティを担保しつつ、確実にコンテンツの伝送を実行することができる。

[0090] （処理フロー）

次に、第1実施例に係るナビゲーション装置1の処理手順の具体例について説明する。図8は、ユーザ操作に伴うナビゲーション装置1の処理手順を示すフローチャートの一例である。図8に示すフローチャートは、ナビゲーション装置1が第1端末100及び第2端末200と近距離無線通信部5により通信可能な位置に存在する場合に実行される。なお、図8において、実線矢印は処理の流れを示し、破線矢印は操作による入力を表す。

[0091] まず、ナビゲーション装置1は、第1端末100及び第2端末200と通信を確立する（ステップS101）。そして、ナビゲーション装置1は、第1端末100と第2端末200とから、それぞれコンテンツリストCL1、

ＣＬ２を取得すると共に、これらのコンテンツに関連する属性情報Ｉｓを取得する（ステップＳ１０２）。なお、上述したように、ナビゲーション装置１は、属性情報管理部４により自ら属性情報Ｉｓを生成及び記憶していてもよい。

[0092] そして、ステップＳ１０２後、ユーザは任意のタイミングでコピー操作画面への切替指示を行う（ステップＳ２０１）。例えばユーザは、所定のボタン押下又はタッチパネルの押下等により画面切替を指示する。そして、ナビゲーション装置１は、図４（ａ）等に応示するようなコピー操作画面を表示する（ステップＳ１０３）。

[0093] そして、ユーザは、任意のタイミングでコンテンツリストＣＬ１から任意にコンテンツＡｓを決定し、バッファ領域Ｂｔへドラッグする（ステップＳ２０２）。これに対し、ナビゲーション装置１は、コンテンツＡｓの属性情報Ｉｓに基づきサブメニューＳＬを表示する（ステップＳ１０４）。

[0094] 次に、ユーザは、表示されたサブメニューＳＬから選択項目Ｓｉを任意に決定する（ステップＳ２０３）。この場合、ナビゲーション装置１は、選択項目Ｓｉに基づきコンテンツＡｓと関連するコンテンツをコンテンツリストＣＬ１から抽出し、バッファ領域Ｂｔにリスト表示する（ステップＳ１０５）。即ち、これにより、バッファ領域Ｂｔに関連コンテンツリストＢＬが表示される。

[0095] 次に、ユーザは、関連コンテンツリストＢＬからコピーしたいコンテンツをコンテンツリストＣＬ２へドラッグする（ステップＳ２０４）。ここで関連コンテンツリストＢＬ中のコンテンツは、ユーザが指定した選択項目Ｓｉに基づき抽出されている。従って、ユーザは、複数の関連するコンテンツのコピー操作を容易に実行することができる。

[0096] これに対し、ナビゲーション装置１は、コンテンツリストＣＬ２へドラッグされたコンテンツの送信制御を行う（ステップＳ１０６）。具体的には、図７に示すシーケンス図に従い、ステップＳ２０４で指定されたコンテンツが第１サーバ１５０から第２サーバ２５０へ送信される。

[0097] 以上説明したように、本実施例によるナビゲーション装置は、受信手段と、コンテンツリスト表示手段と、第1入力受付手段と、サブメニュー表示手段と、第2入力受付手段と、関連コンテンツ抽出手段と、を備える。受信手段は、第1端末からコンテンツの識別名等からなるコンテンツリストを受信する。コンテンツリスト表示手段は、コンテンツリストを表示する。第1入力受付手段は、タッチパネル方式等により、コンテンツリスト中の任意のコンテンツを指定するためのユーザ入力を受け付ける。サブメニュー表示手段は、コンテンツリストからユーザ入力により指定された指定コンテンツの属性情報に基づき、当該指定コンテンツとの関連性を指定する項目からなるサブメニューを表示する。第2入力受付手段は、ユーザ入力によるサブメニューの項目の指定を受け付ける。関連コンテンツ抽出手段は、指定された項目に基づき、指定コンテンツと関連するコンテンツをコンテンツリストから抽出する。即ち、関連コンテンツ抽出手段は、指定コンテンツと、指定された項目の観点で関連性を有するコンテンツをコンテンツリストから抽出する。そして、その後、複製支援装置は、さらに利用者に抽出したコンテンツから複製するコンテンツを指定させる。このように、複製支援装置は、サブメニューを表示して項目を指定させることで、利用者が指定した関連性に基づき関連するコンテンツを適切に抽出することができる。従って、利用者の複製操作を容易にし、ユーザビリティを向上させることができる。

[0098] (変形例1)

第1実施例のシステム構成では、ナビゲーション装置1は、広域無線通信部7を備え、第1サーバ150及び第2サーバ250と通信網300を介して通信可能に構成されていた。これに代えて、ナビゲーション装置1は、広域無線通信部7を有しなくともよい。

[0099] これについて図9を用いて説明する。図9は、変形例1に係るコンテンツ複製システムの概略構成の一例である。図9に示すように、ナビゲーション装置1は、第1端末100と第2端末200とのみ近距離通信が可能である。この場合、ナビゲーション装置1は、第1端末100及び第2端末200

から必要に応じてコンテンツリストCL1、CL2や属性情報Isの授受を行う。また、コンテンツの伝送時では、上述した（コンテンツの伝送例）と同様、ナビゲーション装置1は、コピー情報を第1端末100へ送信したり、第1端末100から転送されたPWD等の情報を第2端末200転送する。このように、変形例1にも、好適に本発明を適用することができる。

[0100] （変形例2）

第1実施例では、第1端末100と第1サーバ150、及び、第2端末200と第2サーバ250とがそれぞれ別の装置によって実現されていた。しかし、本発明が適用可能な構成は、これに限定されない。これに代えて、第1端末100及び第1サーバ150と、第2端末200及び第2サーバ250とがそれぞれ一体の装置により実現されてもよい。

[0101] 例えば、第1端末100及び第1サーバ150が一体の装置によって実現された場合、第1端末100はメモリに利用者Aが保有するコンテンツを記憶する。同様に、例えば、第2端末200及び第2サーバ250が一体の装置によって実現された場合、第2端末200はメモリに利用者Bが保有するコンテンツを記憶する。また、いずれの場合であっても、ナビゲーション装置1は、例えば図8に示すフローチャートに従いコンテンツのコピーを行う。以上のように、変形例2によっても、本発明を好適に実施することができる。

[0102] （変形例3）

第1実施例の構成に代えて、ナビゲーション装置1は、利用者A又は／及び利用者Bの保有するコンテンツをメモリに記憶してもよい。即ち、ナビゲーション装置1が第1サーバ150又は／及び第2サーバ250の機能を備えてもよい。

[0103] 例えば、利用者Aのコンテンツがナビゲーション装置1のメモリに記憶されている場合、コピー操作後、ナビゲーション装置1は、指定されたコンテンツを当該メモリから取り出して第2サーバ250へ送信する。他の例では、利用者Bのコンテンツがナビゲーション装置1のメモリに記憶されている

場合、コピー操作後、ナビゲーション装置 1 は、指定されたコンテンツを第 1 サーバ 150 から受信する。さらに別の例では、利用者 A 及び利用者 B のコンテンツがナビゲーション装置 1 のメモリに記憶されている場合、コピー操作後、ナビゲーション装置 1 は、指定されたコンテンツの属性等を利用者 B が使用可能になるように変更する。以上のように、変形例 3 によっても、本発明を好適に実施することができる。

[0104] (変形例 4)

第 1 実施例では、コピー操作に係る処理の例として、利用者 A と利用者 B との相互関連性を加味するか否かに基づき、第 1 の例と第 2 の例とをそれぞれ例示した。しかし、本発明が適用可能な方法はこれに限定されない。例えば、これに代えて、または、これに加えて、ナビゲーション装置 1 は、ユーザ操作に基づき、第 1 属性 I s 1 に関連するサブメニュー S L または第 2 属性 I s 2 に関連するサブメニュー S L を表示させてもよい。

[0105] この場合、例えば、図 4 (a) の表示画面 20 でユーザが 2 本指によりコンテンツ A s をバッファ領域 B t にドラッグした場合、ナビゲーション装置 1 は、コンテンツ A s の第 1 属性 I s 1 に関連するサブメニュー S L を表示する。他の例では、図 4 (a) の表示画面 20 でユーザが 3 本指によりコンテンツ A s をバッファ領域 B t にドラッグした場合、ナビゲーション装置 1 は、コンテンツ A s の第 2 属性 I s 2 に関連するサブメニュー S L を表示する。以上のように、変形例 4 によっても、本発明を好適に実施することができる。

[0106] (変形例 5)

上述の第 1 及び第 2 の例では、ナビゲーション装置 1 は、バッファ領域 B t に関連コンテンツリスト B L を表示し、複製したいコンテンツを選択させていた。しかし、本発明が適用可能な方法はこれに限定されない。

[0107] これに代えて、ナビゲーション装置 1 は、例えば表示画面 20 に関連コンテンツリスト B L 中のコンテンツの一括コピーを選択可能なアイコン等を表示し、当該アイコンをユーザが押下することで関連コンテンツリスト B L 中

のコンテンツを一括コピーしてもよい。他の例では、ナビゲーション装置 1 は、ユーザが決定した選択項目 S i に基づき関連コンテンツリスト B L を生成後、関連コンテンツリスト B L 中のコンテンツを自動的に複製制御してもよい。

[0108] (変形例 6)

第 1 実施例のコンテンツ複製システムは、ナビゲーション装置 1 を構成要素とした。これに代えて、コンテンツ複製システムは、表示装置や入力装置を備え、かつ第 1 端末 100 や第 2 端末 200 と通信可能な他の装置（複製支援装置）を構成要素としてもよい。即ち、この場合、ユーザは、複製支援装置が表示する画面に基づきコピー操作を実行する。これによっても、本発明を好適に適用することができる。

[0109] [第 2 実施例]

第 2 実施例は、自宅にあるレコーダに対し、端末から番組予約を実行するものである。このような場合にも本発明を適用することができる。これについて図 10 及び図 11 を参照して説明する。

[0110] 図 10 は、第 2 実施例に係る番組予約システムの概略構成の一例である。図 10 (a) は、第 3 端末 500 とレコーダ 400 とが通信網 300 を介して通信する場合を示し、図 10 (b) は第 3 端末 500 とレコーダ 400 とが直接に近距離無線通信を実行する場合を示す。

[0111] 第 3 端末 500 は、電波の受信又は通信網 300 を介した通信により電子番組表 (EPG: Electric Program Guide) を受信する。図 10 (a) 及び図 10 (b) において、第 3 端末 500 は、通信網 300 を介して、又は近距離無線通信によりレコーダ 400 へ、ユーザが指定した予約番組の録画を指示する信号（録画指示信号）を送信する。

[0112] レコーダ 400 は、通信網 300 を介して、又は近距離無線通信により、第 3 端末 500 から送信される録画指示信号を受信し、当該録画指示信号に基づき指定された番組を録画する。

[0113] 次に、図 11 を参照し、第 2 実施例の番組予約に係る処理について説明す

る。図 1 1 (a) は、第 2 実施例で番組予約を実行する際に第 3 端末 5 0 0 が出力する表示画面 2 1 を示す。

[0114] 図 1 1 (a) に示すように、表示画面 2 1 の左端のコンテンツリスト表示領域 C t 1 には、複数の番組からなるコンテンツリスト C L 1 (即ち、番組表に相当する。)が表示されている。また、表示画面 2 1 の右端のコンテンツリスト表示領域 C t 2 には、既にユーザが指定した予約番組からなるコンテンツリスト C L 2 (即ち、予約リストに相当する。)が表示されている。なお、ここでは、一例として、コンテンツリスト C L 1 は、同一行が同一時間帯の番組を示し、同一列が同一放送局を示す 2 次元配列とする。また、コンテンツリスト表示領域 C t 1 は、縦及び横のスクロール操作等により、コンテンツリスト C L 1 中の全てのコンテンツを表示可能である。

[0115] まず、ユーザは、予約したい番組をコンテンツリスト C L 1 からバッファ領域 B t へドラッグする (S T E P 1)。ここでは、一例として、ナビゲーション装置 1 は、図 1 1 (a) に示すように二本指のドラッグ操作による番組の選択を受理するものとする。

[0116] そして、選択された番組 (コンテンツ A s) が二本指のドラッグ操作によりバッファ領域 B t に移動した場合、第 3 端末 5 0 0 は、コンテンツ A s との関連性を指定する項目からなるサブメニュー S L を表示する (S T E P 2)。この場合、属性情報 I s は、E P G に付加された番組情報の他、第 3 端末 5 0 0 がインターネット等を介して取得した情報を含む。図 1 1 (a) では、サブメニュー S L は、一例として、「同じジャンル」、「同じ出演者」、「次回以降」、「同じ場所」を含む。これにより、第 3 端末 5 0 0 は、サブメニュー S L 中の任意の項目をユーザに選択させる。ここで、「次回以降」は、例えば同一又は共通する番組 (ドラマ番組等) の続編等が該当し、「同じ場所」は、撮影場所や取材場所等が共通する地域等である場合が該当する。

[0117] ここで、サブメニュー S L の生成方法について例示する。例えば、第 3 端末 5 0 0 は、属性情報 I s ごとに対応するサブメニュー S L の項目を格納し

たデータベース等を予めメモリに記憶しておく。そして、第3端末500は、コンテンツA sに関連する属性情報I sから当該データベースを参照してサブメニューS Lを生成する。

[0118] そして、ユーザは、サブメニューS Lから任意の項目を選択する。例えば、ユーザは、当該項目の表示部分に触れたままサブメニューS Lから指をずらして表示画面21から指を離すことにより、選択項目S iを選択する。これにより、第3端末500は、選択項目S iに関連した番組をコンテンツリストC L1から抽出し、ユーザに提示することができる。これについて図11(b)を用いて詳しく説明する。

[0119] 図11(b)は、選択項目S iが決定された後の表示画面21の表示例を示す。図11(b)に示すように、第3端末500は、選択項目S iの決定後、バッファ領域B t中に、コンテンツリストC L1から選択項目S iに関連したコンテンツ（関連番組）を抽出し、関連コンテンツリストB Lとして表示する（STEP3）。このようにすることで、第3端末500は、コンテンツA sに加えて、コンテンツA sとユーザが指定した関連性を有するコンテンツ（関連番組）をバッファ領域B tに表示することができる。

[0120] 例えば、ユーザがサブメニューS L中の「同じジャンル」を選択した場合、第3端末500は、コンテンツA sが属するジャンル（ニュース、バラエティ等）と同一のジャンルである番組を関連コンテンツリストB Lに表示する。同様に、ユーザが「同じ出演者」を選択した場合、第3端末500は、コンテンツA sの出演者が出演する番組を関連コンテンツリストB Lに表示する。

[0121] そして、ユーザは、関連コンテンツリストB Lから、予約したい関連番組を選択してコンテンツリスト表示領域C t2にドラッグすることにより番組予約する（STEP4）。これにより、ドラッグされた関連番組は、コンテンツリストC L2（即ち、予約リスト）に追加される。

[0122] その後、第3端末500は、コンテンツリストC L2を構成する予約番組の録画指示信号をレコーダ400へ送信する。そして、レコーダ400は、

受信した録画指示信号に基づき、番組を録画する。

[0123] このように、第3端末500は、サブメニューSLを表示してユーザに選択項目Siを決定させ、関連性のある番組を抽出して表示することで、手間のかかる番組予約を簡便化することができる。また、上述の関連性は、ユーザにより選択される。従って、第3端末500は、ユーザが意図する番組を的確に関連コンテンツリストBLに提示し、番組予約の操作を簡易化することができる。

[0124] (変形例)

なお、上述した第1実施例の変形例5は、第2実施例にも同様に適用することができる。この場合、第3端末500は、関連コンテンツリストBLの抽出後、関連コンテンツリストBL中の全番組の録画指示信号をレコーダ400へ送信する。

符号の説明

[0125] 1 ナビゲーション装置
100 第1端末
150 第1サーバ
200 第2端末
250 第2サーバ
300 通信網
400 レコーダ
500 第3端末

請求の範囲

- [請求項1] コンテンツを提供する利用者が使用する第1端末と通信を行う複製支援装置であって、
- 前記第1端末から前記利用者が保有するコンテンツのコンテンツリストを受信する受信手段と、
- 前記コンテンツリストを表示するコンテンツリスト表示手段と、
- 前記コンテンツリスト中の任意のコンテンツを指定するための外部入力を受け付ける第1入力受付手段と、
- 前記コンテンツリストから外部入力により指定された指定コンテンツの属性情報に基づき、当該指定コンテンツとの関連性を指定する項目からなるサブメニューを表示するサブメニュー表示手段と、
- 外部入力による前記項目の指定を受け付ける第2入力受付手段と、
- 指定された前記項目に基づき、前記指定コンテンツと関連するコンテンツを前記コンテンツリストから抽出する関連コンテンツ抽出手段と、
- を備えることを特徴とする複製支援装置。
- [請求項2] 前記関連コンテンツ抽出手段が抽出したコンテンツのリストである関連コンテンツリストを表示する関連コンテンツリスト表示手段と、
- 外部入力に基づき前記関連コンテンツリストから指定されたコンテンツの複製制御を実行する複製制御実行手段と、
- をさらに備えることを特徴とする請求項1に記載の複製支援装置。
- [請求項3] コンテンツの提供を受ける利用者が使用する第2端末と通信を行い、
- 前記受信手段は、前記第2端末のコンテンツリストを受信し、
- 前記コンテンツリスト表示手段は、前記第2端末のコンテンツリストを表示し、
- 前記複製制御実行手段は、外部入力に基づき前記関連コンテンツリストから前記第2端末のコンテンツリストへ移動したコンテンツの複

製制御を実行することを特徴とする請求項 2 に記載の複製支援装置。

[請求項 4] 前記属性情報は、コンテンツが本来有している第 1 属性、及び、利用者の行為に起因して発生する第 2 属性を含むことを特徴とする請求項 1 乃至 3 のいずれか一項に記載の複製支援装置。

[請求項 5] サブメニュー表示手段は、前記指定コンテンツの属性情報に基づき、前記第 1 端末の利用者と前記第 2 端末の利用者との共通性を示す項目からなるサブメニューを表示することを特徴とする請求項 3 または 4 に記載の複製支援装置。

[請求項 6] 指定された番組の録画を行う番組記録装置へ録画指示信号を送信する端末装置であって、

番組の識別名及び当該番組の属性情報からなる番組情報を電磁的な方法により取得する番組情報取得手段と、

前記番組情報に基づき番組のリストを表示する番組リスト表示手段と、

前記リスト中の任意の番組を指定するための外部入力を受け付ける第 1 入力受付手段と、

前記リストから外部入力により指定された指定番組の属性情報に基づき、当該指定番組との関連性を指定する項目からなるサブメニューを表示するサブメニュー表示手段と、

外部入力による前記項目の指定を受け付ける第 2 入力受付手段と、

指定された前記項目に基づき、前記指定番組と関連する番組を前記リストから抽出する関連番組抽出手段と、
を備えることを特徴とする端末装置。

[請求項 7] 前記関連番組抽出手段が抽出した番組のリストである関連番組リストを表示する関連番組リスト表示手段と、

外部入力に基づき前記関連番組リストから指定された番組の録画指示信号を前記番組記録装置へ送信する番組予約通知手段と、
をさらに備えることを特徴とする請求項 6 に記載の端末装置。

[請求項8] コンテンツを提供する利用者が使用する第1端末と通信を行う複製支援装置により実行される複製支援方法であって、

前記第1端末から前記利用者が保有するコンテンツのコンテンツリストを受信する受信工程と、

前記コンテンツリストを表示するコンテンツリスト表示工程と、

前記コンテンツリスト中の任意のコンテンツを指定するための外部入力を受け付ける第1入力受付工程と、

前記コンテンツリストから外部入力により指定された指定コンテンツの属性情報に基づき、当該指定コンテンツとの関連性を指定する項目からなるサブメニューを表示するサブメニュー表示工程と、

外部入力による前記項目の指定を受け付ける第2入力受付工程と、

指定された前記項目に基づき、前記指定コンテンツと関連するコンテンツを前記コンテンツリストから抽出する関連コンテンツ抽出工程と、

を備えることを特徴とする複製支援方法。

[請求項9] コンテンツを提供する利用者が使用する第1端末と通信を行うコンピュータにより実行される複製支援プログラムであって、

前記第1端末から前記利用者が保有するコンテンツのコンテンツリストを受信する受信手段と、

前記コンテンツリストを表示するコンテンツリスト表示手段と、

前記コンテンツリスト中の任意のコンテンツを指定するための外部入力を受け付ける第1入力受付手段と、

前記コンテンツリストから外部入力により指定された指定コンテンツの属性情報に基づき、当該指定コンテンツとの関連性を指定する項目からなるサブメニューを表示するサブメニュー表示手段と、

外部入力による前記項目の指定を受け付ける第2入力受付手段と、

指定された前記項目に基づき、前記指定コンテンツと関連するコンテンツを前記コンテンツリストから抽出する関連コンテンツ抽出手段

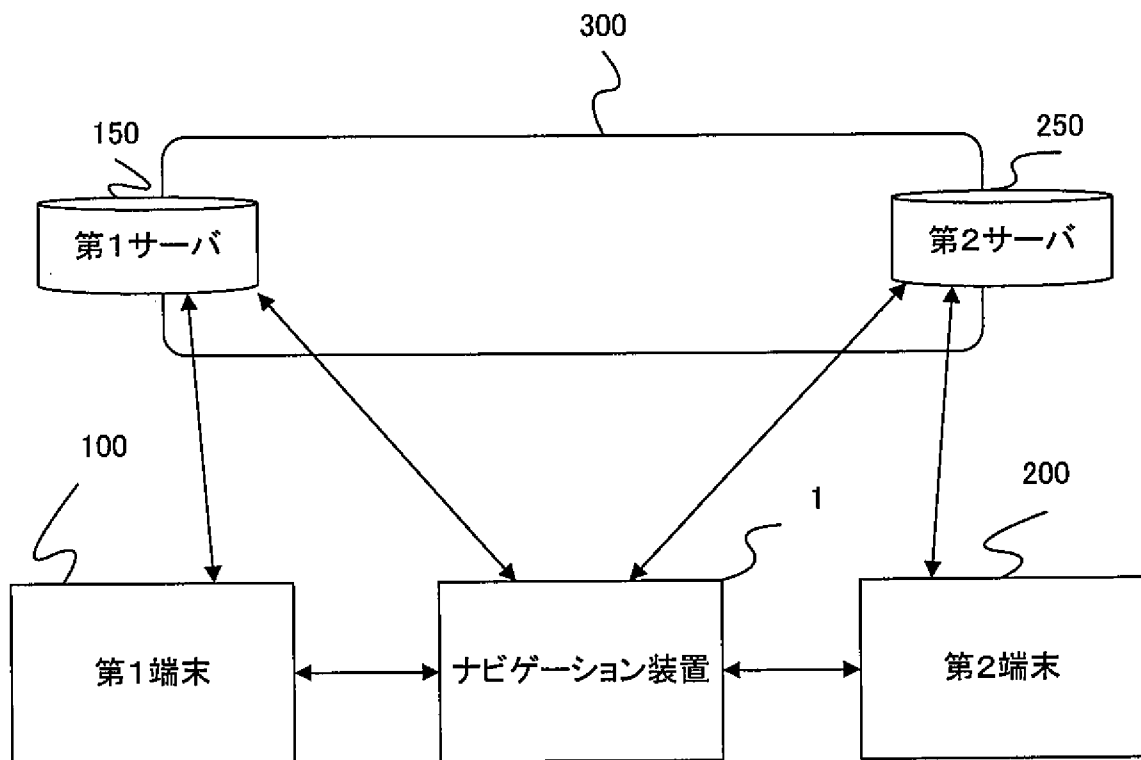
と、

を備えることを特徴とする複製支援プログラム。

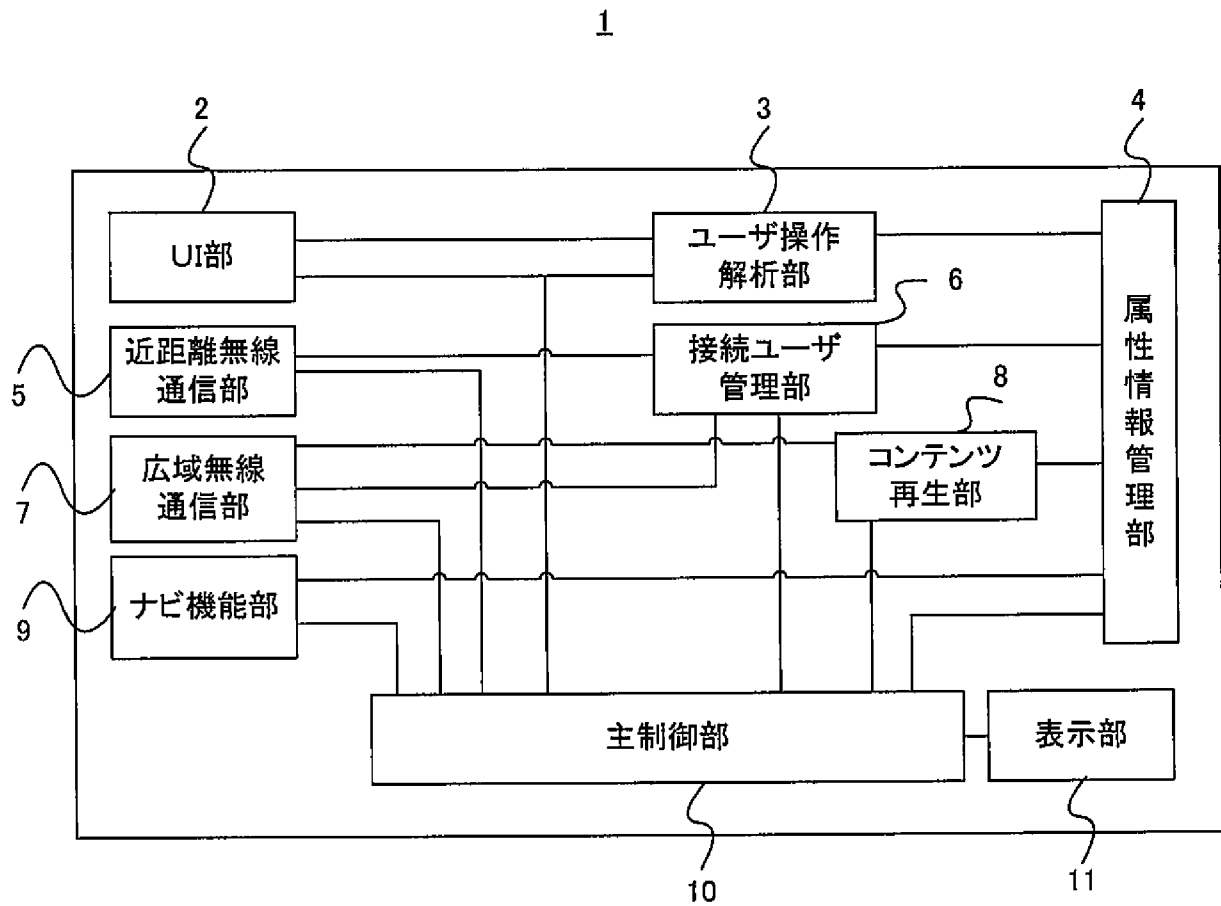
[請求項10] 請求項9に記載のプログラムを記憶したことを特徴とする記憶媒体

。

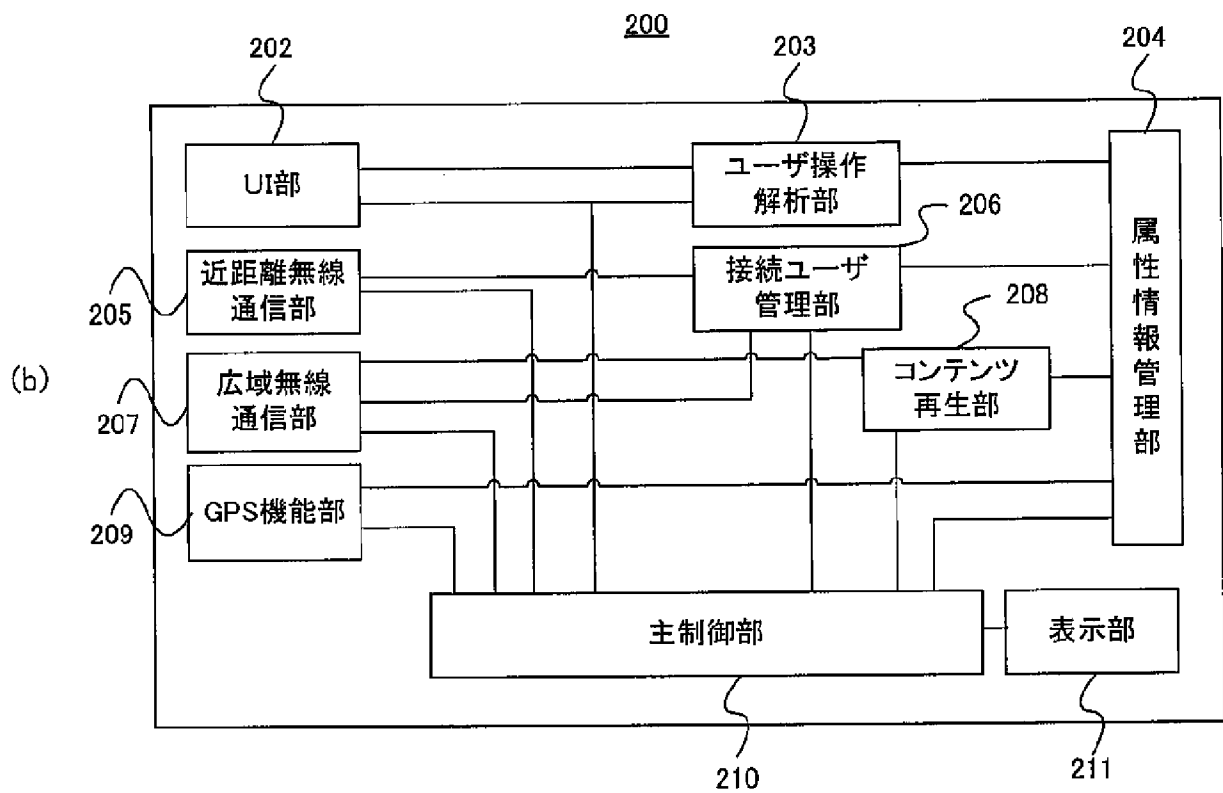
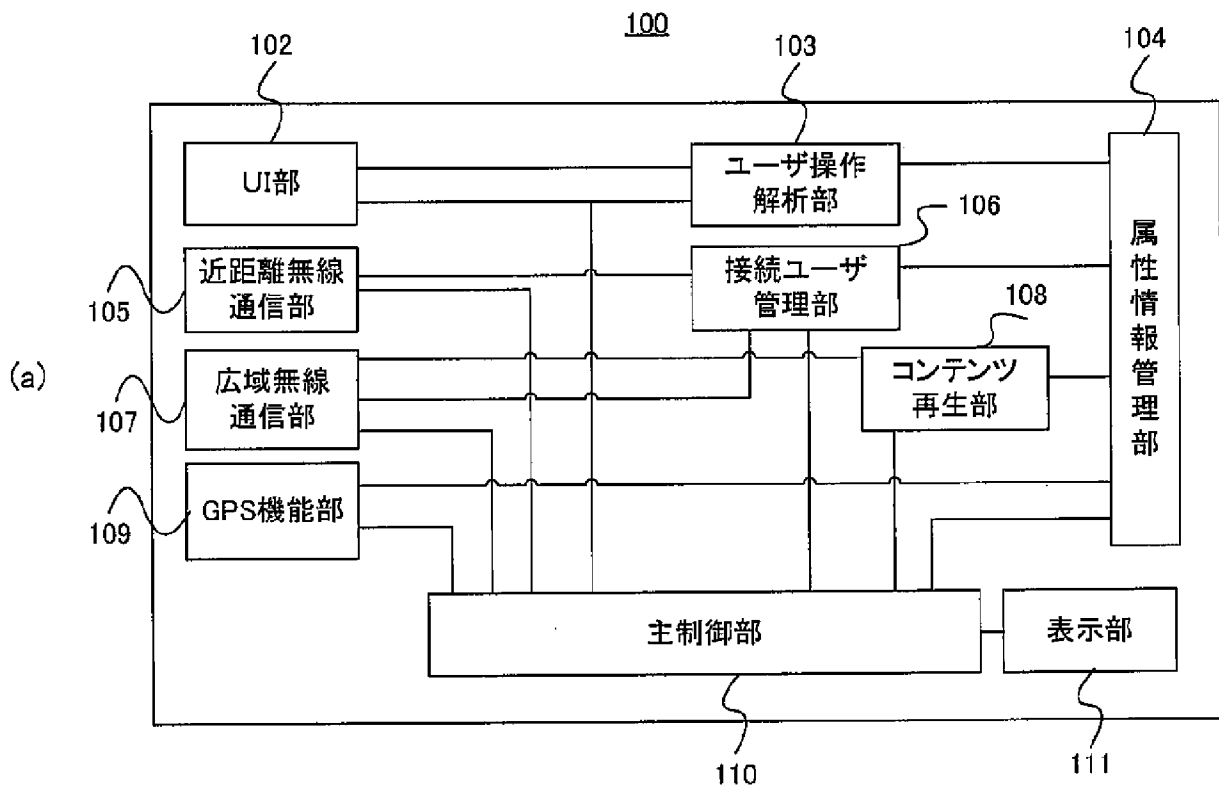
[図1]



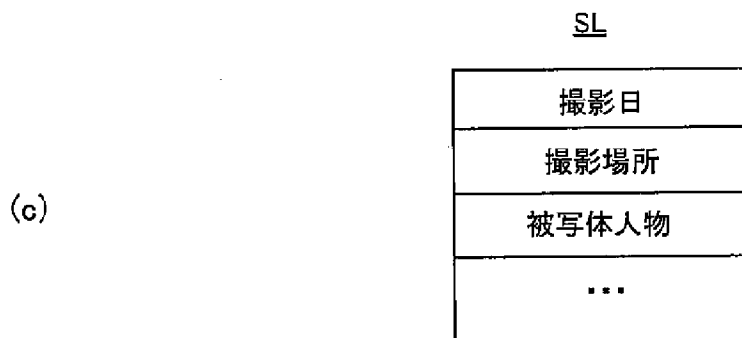
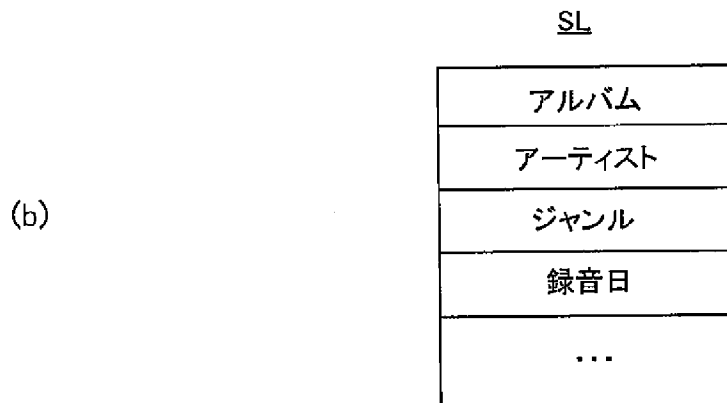
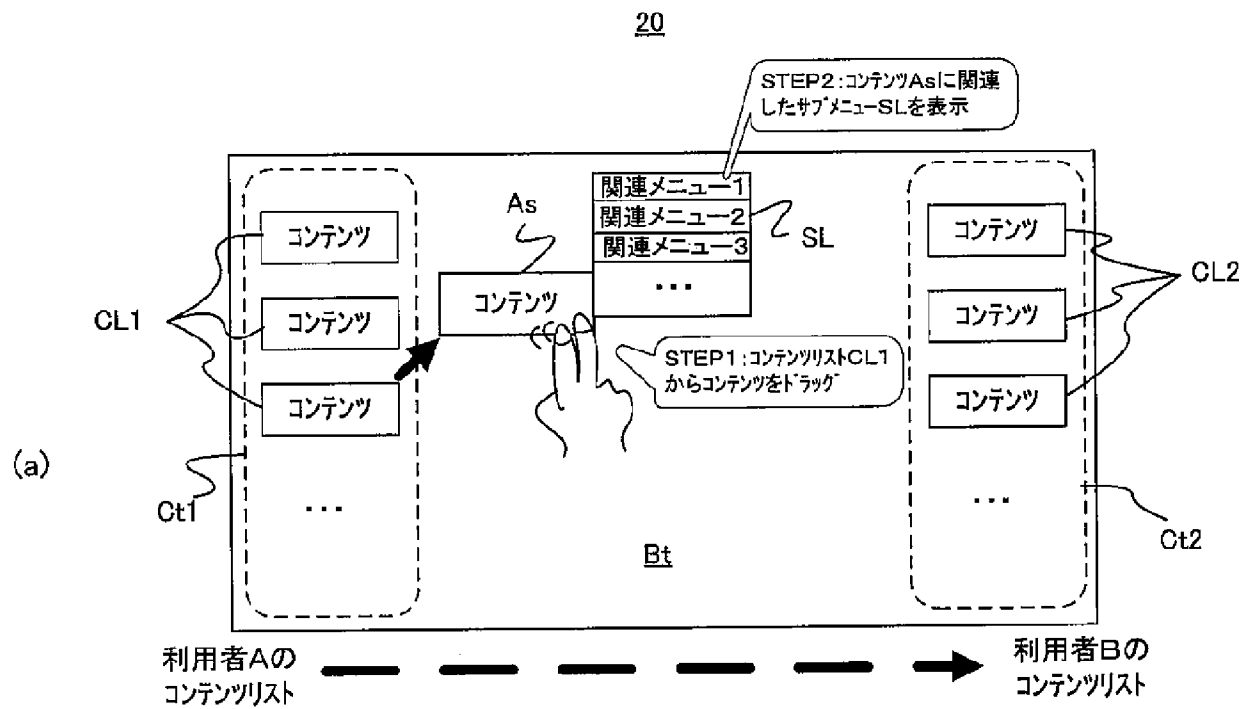
[図2]



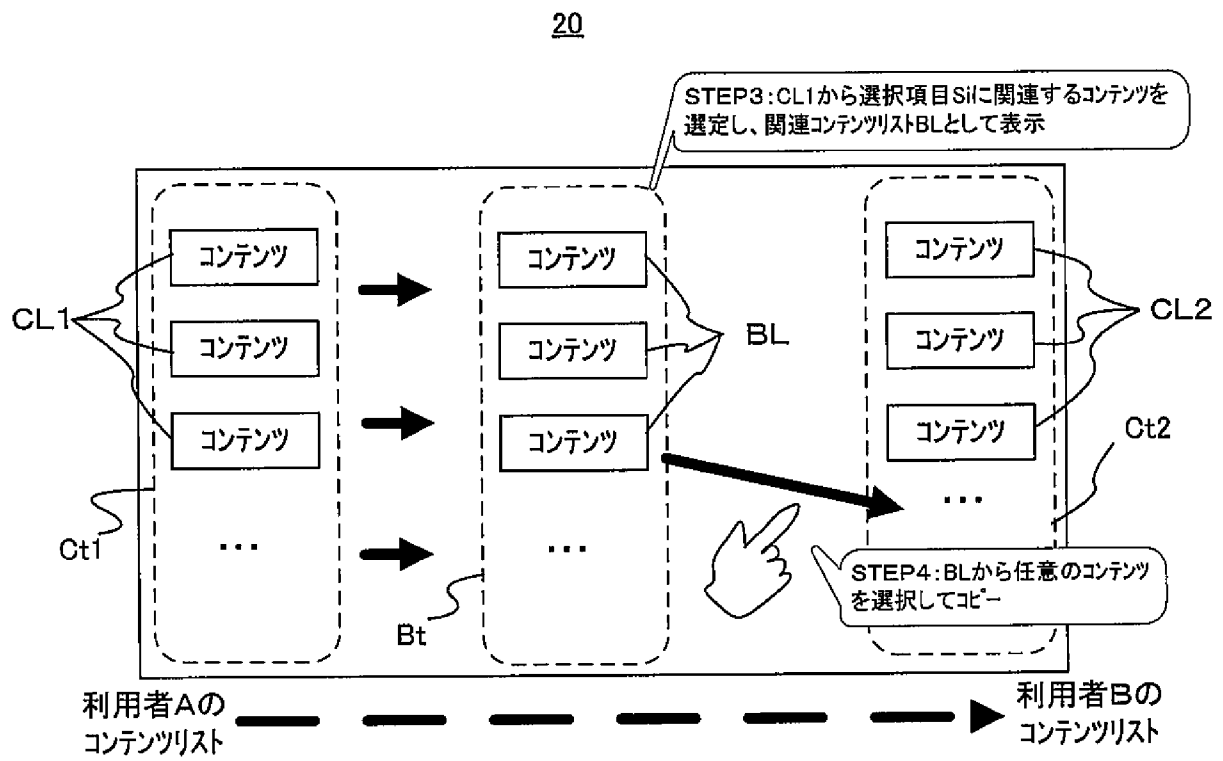
[図3]



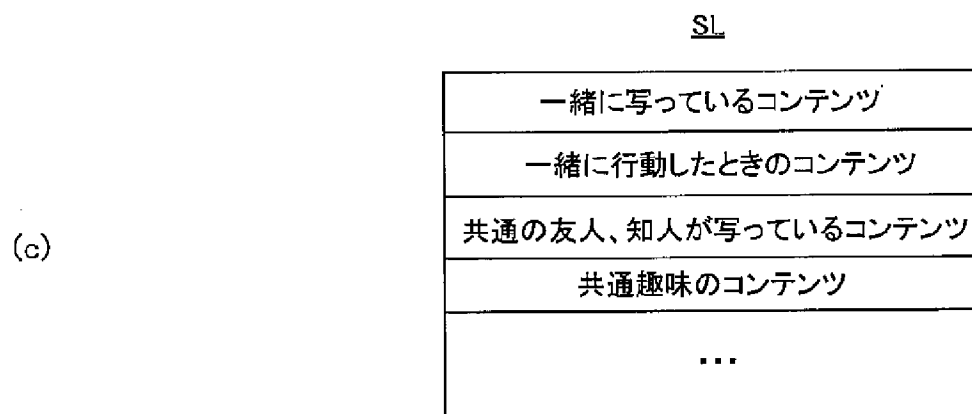
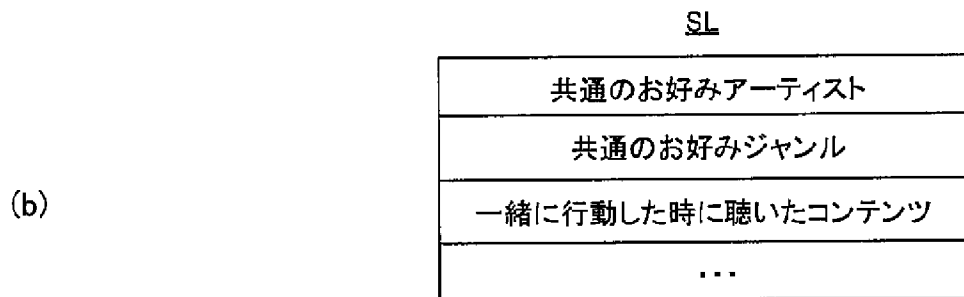
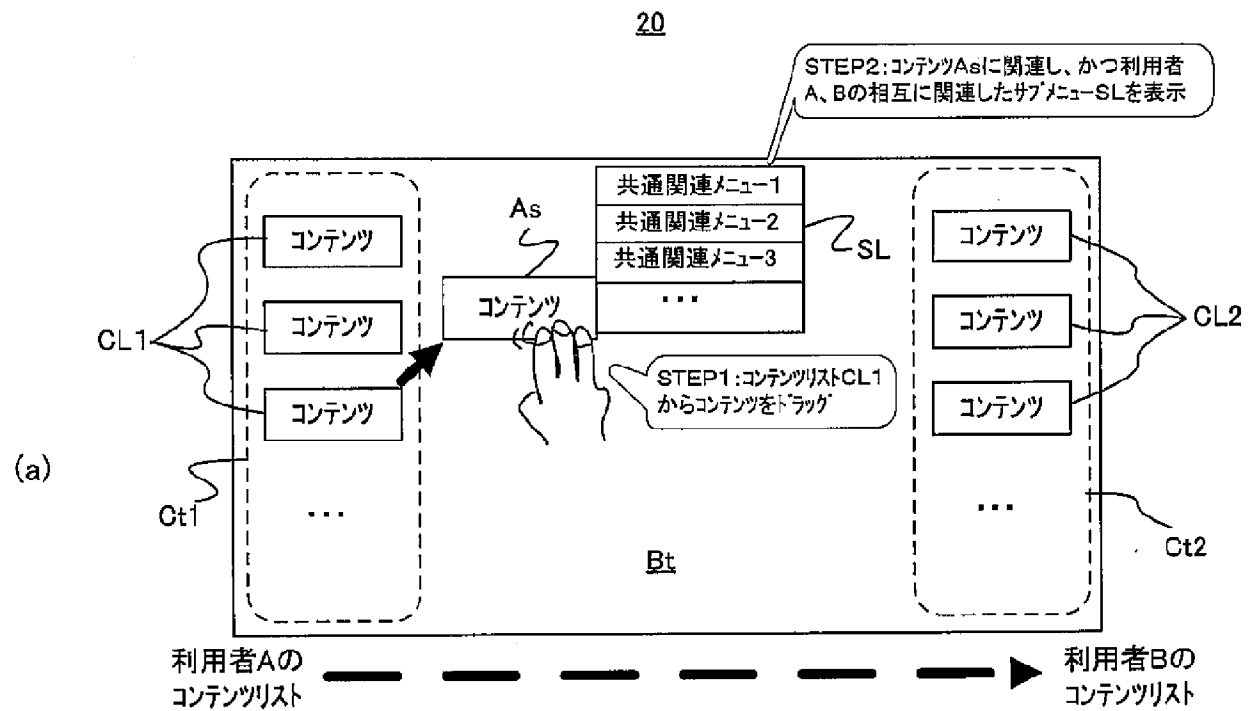
[図4]



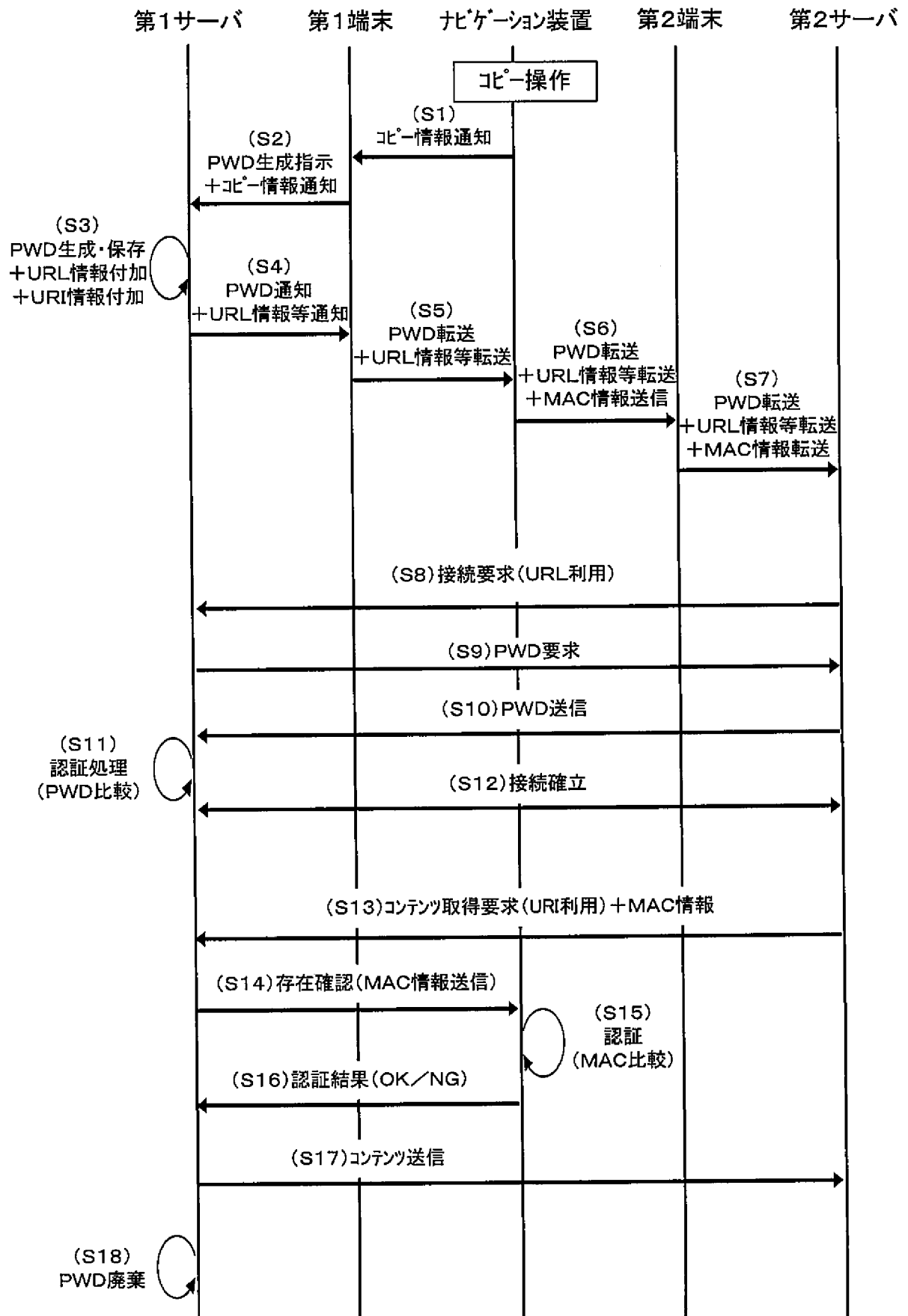
[図5]



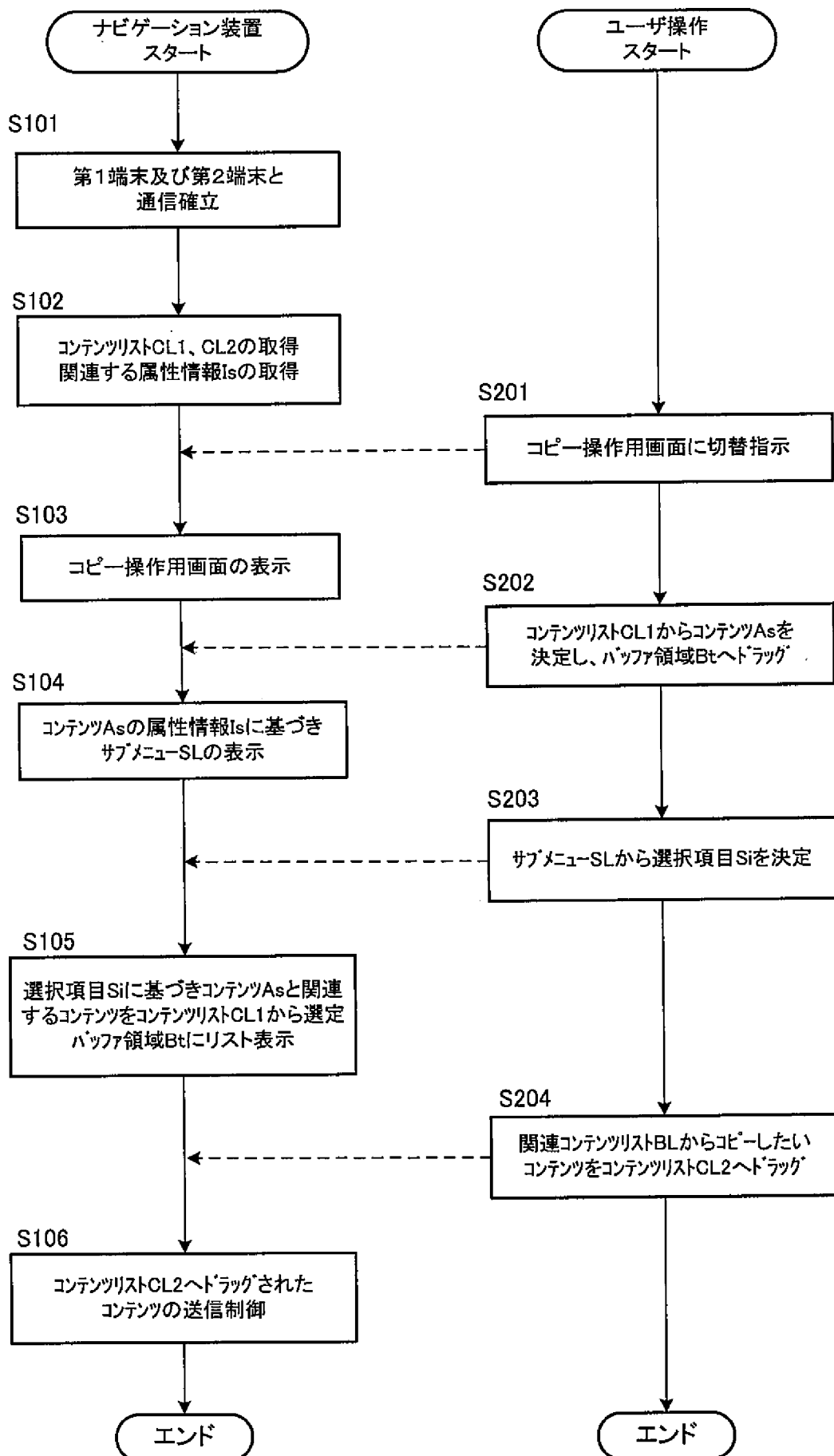
[図6]



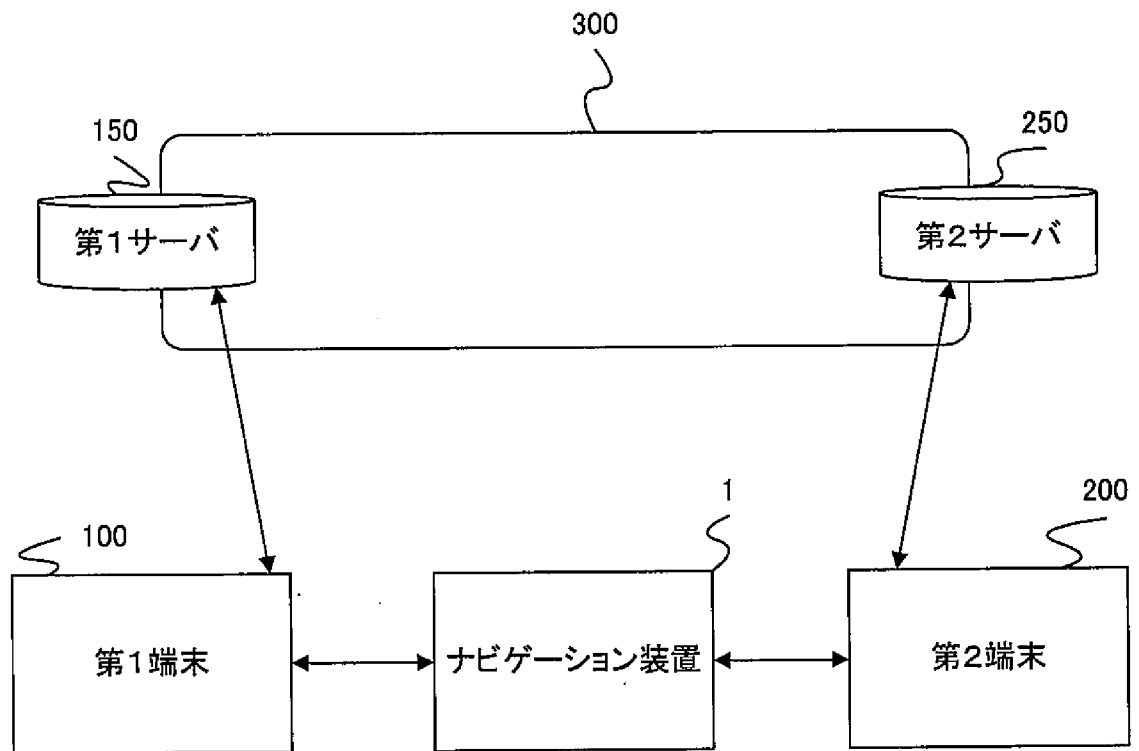
[図7]



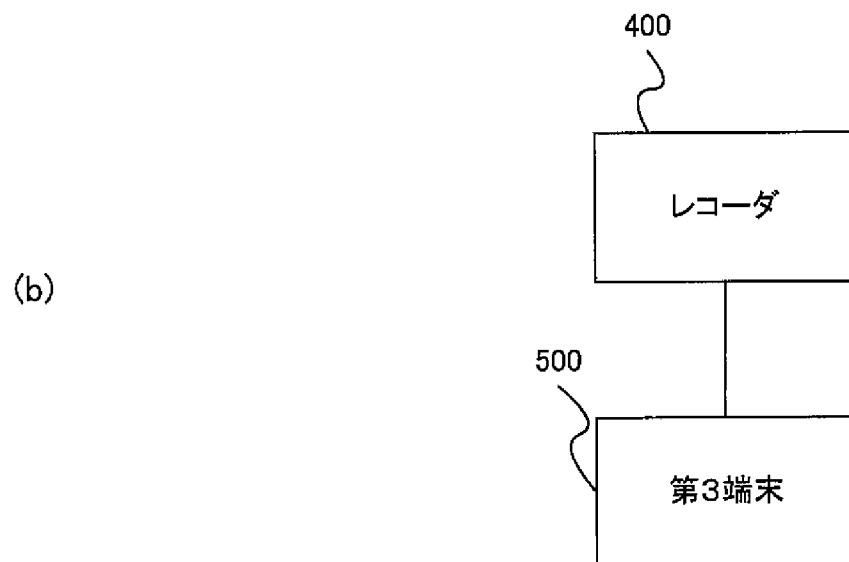
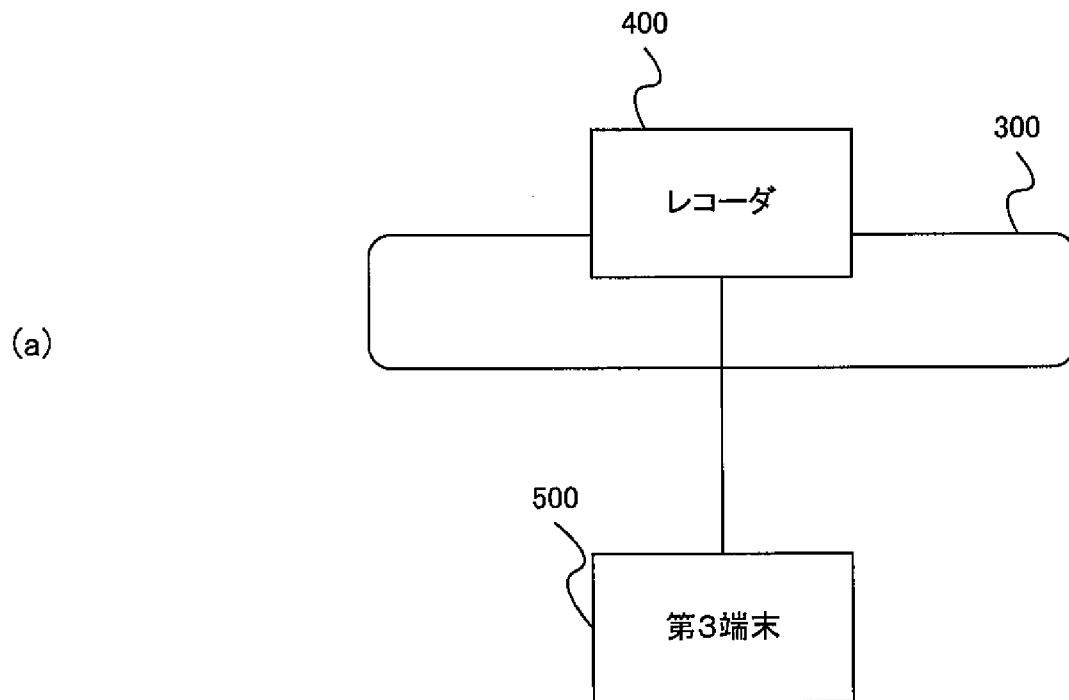
[図8]



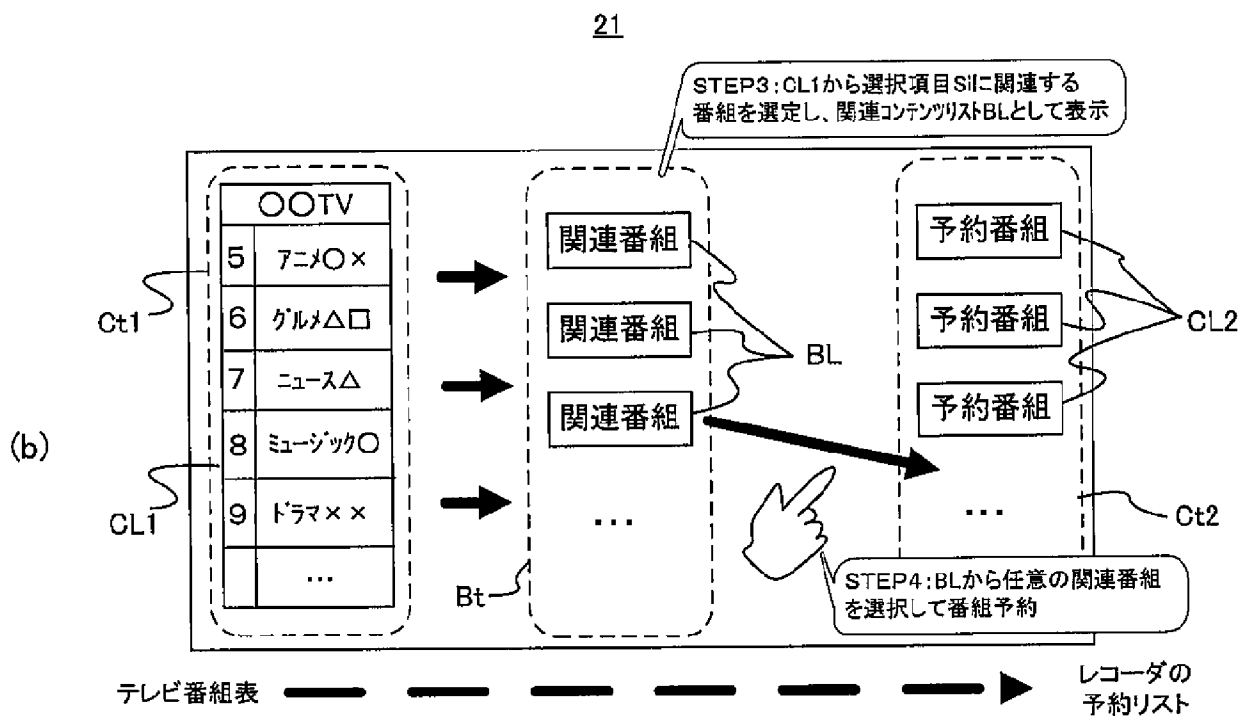
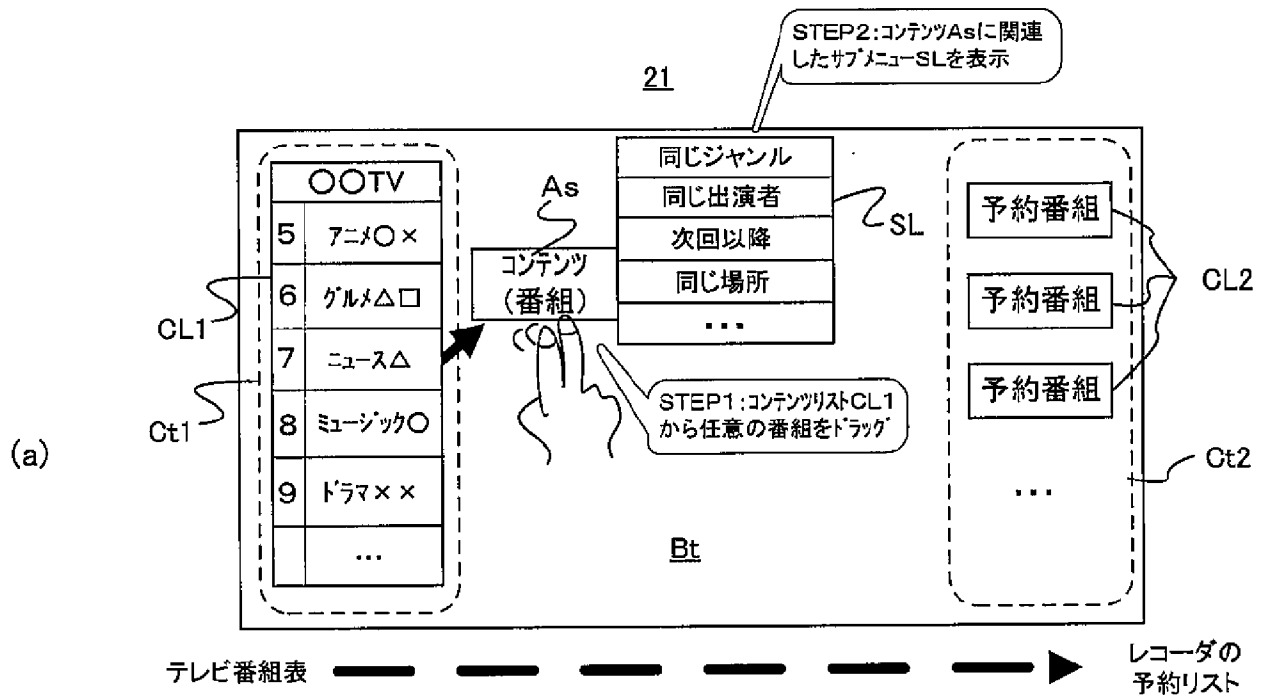
[図9]



[図10]



[図11]



INTERNATIONAL SEARCH REPORT

International application No.

PCT/JP2009/059963

A. CLASSIFICATION OF SUBJECT MATTER

G11B27/34(2006.01)i, G10K15/02(2006.01)i, G11B20/10(2006.01)i, G11B27/02(2006.01)i, H04N5/91(2006.01)i

According to International Patent Classification (IPC) or to both national classification and IPC

B. FIELDS SEARCHED

Minimum documentation searched (classification system followed by classification symbols)

G11B27/34, G10K15/02, G11B20/10, G11B27/02, H04N5/91

Documentation searched other than minimum documentation to the extent that such documents are included in the fields searched

Jitsuyo Shinan Koho	1922-1996	Jitsuyo Shinan Toroku Koho	1996-2009
Kokai Jitsuyo Shinan Koho	1971-2009	Toroku Jitsuyo Shinan Koho	1994-2009

Electronic data base consulted during the international search (name of data base and, where practicable, search terms used)

C. DOCUMENTS CONSIDERED TO BE RELEVANT

Category*	Citation of document, with indication, where appropriate, of the relevant passages	Relevant to claim No.
A	JP 2006-012257 A (Fujitsu Ten Ltd.), 12 January, 2006 (12.01.06), Par. Nos. [0041] to [0047]; Figs. 3, 4 & US 2005/0286384 A1 & EP 1610330 A2	1-10
A	JP 2006-091680 A (Casio Hitachi Mobile Communications Co., Ltd.), 06 April, 2006 (06.04.06), Par. No. [0050]; Fig. 4 (Family: none)	1-10
A	JP 09-098271 A (Canon Inc.), 08 April, 1997 (08.04.97), Par. Nos. [0022] to [0033]; Fig. 2 (Family: none)	1-10

☐ Further documents are listed in the continuation of Box C.

☐ See patent family annex.

* Special categories of cited documents:

"A" document defining the general state of the art which is not considered to be of particular relevance

"E" earlier application or patent but published on or after the international filing date

"L" document which may throw doubts on priority claim(s) or which is cited to establish the publication date of another citation or other special reason (as specified)

"O" document referring to an oral disclosure, use, exhibition or other means

"P" document published prior to the international filing date but later than the priority date claimed

"T" later document published after the international filing date or priority date and not in conflict with the application but cited to understand the principle or theory underlying the invention

"X" document of particular relevance; the claimed invention cannot be considered novel or cannot be considered to involve an inventive step when the document is taken alone

"Y" document of particular relevance; the claimed invention cannot be considered to involve an inventive step when the document is combined with one or more other such documents, such combination being obvious to a person skilled in the art

"&" document member of the same patent family

Date of the actual completion of the international search
08 July, 2009 (08.07.09)

Date of mailing of the international search report
21 July, 2009 (21.07.09)

Name and mailing address of the ISA/
Japanese Patent Office

Authorized officer

Facsimile No.

Telephone No.

A. 発明の属する分野の分類 (国際特許分類 (I P C))

Int.Cl. G11B27/34(2006.01)i, G10K15/02(2006.01)i, G11B20/10(2006.01)i, G11B27/02(2006.01)i, H04N5/91(2006.01)i

B. 調査を行った分野

調査を行った最小限資料 (国際特許分類 (I P C))

Int.Cl. G11B27/34, G10K15/02, G11B20/10, G11B27/02, H04N5/91

最小限資料以外の資料で調査を行った分野に含まれるもの

日本国実用新案公報	1 9 2 2 - 1 9 9 6 年
日本国公開実用新案公報	1 9 7 1 - 2 0 0 9 年
日本国実用新案登録公報	1 9 9 6 - 2 0 0 9 年
日本国登録実用新案公報	1 9 9 4 - 2 0 0 9 年

国際調査で使用した電子データベース (データベースの名称、調査に使用した用語)

C. 関連すると認められる文献

引用文献の カテゴリー*	引用文献名 及び一部の箇所が関連するときは、その関連する箇所の表示	関連する 請求項の番号
A	JP 2006-012257 A (富士通テン株式会社) 2006.01.12, 段落【0041】 - 【0047】, 図3, 4 & US 2005/0286384 A1 & EP 1610330 A2	1 - 10
A	JP 2006-091680 A (株式会社カシオ日立モバイルコミュニケーションズ) 2006.04.06, 段落【0050】, 図4 (ファミリーなし)	1 - 10
A	JP 09-098271 A (キヤノン株式会社) 1997.04.08, 段落【0022】 - 【0033】, 図2 (ファミリーなし)	1 - 10

☐ C欄の続きにも文献が列挙されている。

☐ パテントファミリーに関する別紙を参照。

* 引用文献のカテゴリー

「A」 特に関連のある文献ではなく、一般的技術水準を示すもの
「E」 国際出願日前の出願または特許であるが、国際出願日以後に公表されたもの
「L」 優先権主張に疑義を提起する文献又は他の文献の発行日若しくは他の特別な理由を確立するために引用する文献 (理由を付す)
「O」 口頭による開示、使用、展示等に言及する文献
「P」 国際出願日前で、かつ優先権の主張の基礎となる出願

の日の後に公表された文献

「T」 国際出願日又は優先日後に公表された文献であって出願と矛盾するものではなく、発明の原理又は理論の理解のために引用するもの
「X」 特に関連のある文献であって、当該文献のみで発明の新規性又は進歩性がないと考えられるもの
「Y」 特に関連のある文献であって、当該文献と他の1以上の文献との、当業者にとって自明である組合せによって進歩性がないと考えられるもの
「&」 同一パテントファミリー文献

国際調査を完了した日

0 8 . 0 7 . 2 0 0 9

国際調査報告の発送日

2 1 . 0 7 . 2 0 0 9

国際調査機関の名称及びあて先

日本国特許庁 (I S A / J P)

郵便番号 1 0 0 - 8 9 1 5

東京都千代田区霞が関三丁目4番3号

特許庁審査官 (権限のある職員)

金子 秀彦

5 Q

3 6 6 1

電話番号 0 3 - 3 5 8 1 - 1 1 0 1 内線 3 5 9 1